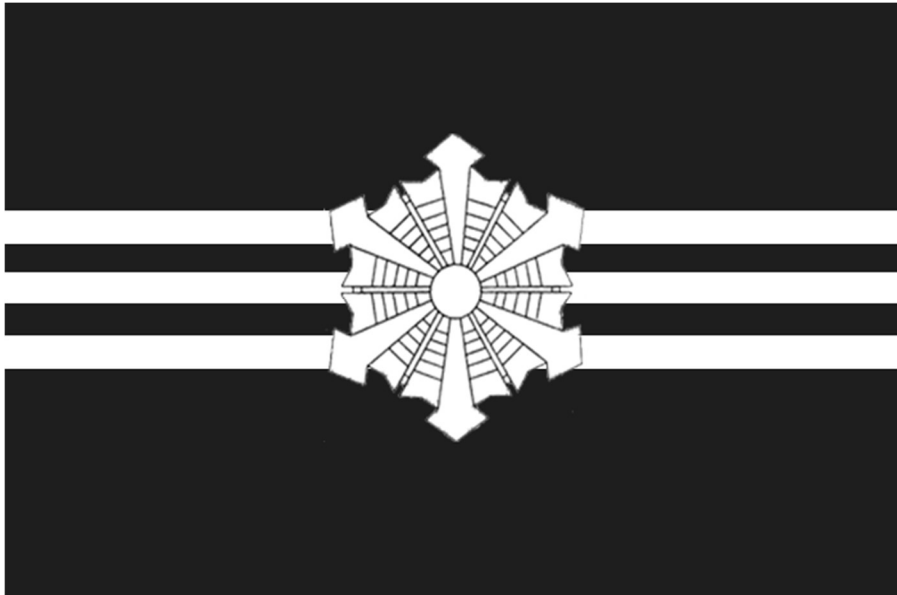


令和 2 年版

消防年報



富士山南東消防組合

(令和 3 年刊行)

は し が き

この年報は、令和3年4月1日現在における富士山南東消防本部の消防現況及び令和2年中の富士山南東消防本部の火災、救急活動状況等の消防事情を収録し、消防行政の合理的な運営と消防力の充実強化に資するものである。

令和3年7月

富士山南東消防本部

目 次

1 消防の概況

一目でわかる消防	1
令和2年 市町別署所別災害出動件数	2
富士山南東消防のあゆみ	3
歴代正副管理者及び歴代消防長	4
歴代組合議会議長及び副議長	4
管轄地域の概要	5
予 算	7
組合の組織図	9
職員の階級別配置状況	10
職員の階級別年齢状況	11
職員の階級別勤続年数	12
職員教育の実施状況	13
消防施設の状況	14
消防車両の状況	16
消防無線の状況	19
消防水利の状況	20

2 人事行政の運営等の状況

人事行政の運営等の状況	21
任免及び職員数に関する状況	22
人事評価の状況	23
給与の状況	23
勤務時間その他の勤務条件の状況	26
情報公開請求の状況	27

3 火災の状況

火災の概要	29
火災の概況	30
覚知別火災件数	31
原因別火災件数	32
曜日別火災件数	33
時間別火災件数	33
月別火災発生状況	34
過去の火災発生状況	35

4 予防業務の状況

予防業務の概要	37
防火管理実施概要	37
違反対象物公表制度	38
防火対象物数及び査察状況	39
消防同意の事務処理状況	40
消防用設備等の検査状況	40
危険物施設数	41
危険物関係事務処理状況	42
消防法による届出状況	43
火災予防条例による届出状況	43

5 救急業務の状況

救急業務の概要	45
救急業務の概況	46
月別救急活動状況	47
救急隊員の行った応急処置	48
事故種別・年齢区分別・傷病程度別搬送人員	50
事故種別搬送人員の分布	51
年齢区分別搬送人員の分布	51
急病に係る疾病分類傷病程度別搬送人員	52
曜日別救急出動件数	53
時間別救急出動件数	53
東名高速道路出動状況	54
新東名高速道路出動状況	54
救急救命士の状況	55
現場到着時心肺停止傷病者の状況	56
応急手当普及講習実施状況	57

6 救助・警防業務の状況

救助・警防業務の概要	59
救助活動の概況	59
月別救助活動状況	60
警防活動の概況	61
月別警防活動状況	61
緊急消防援助隊概要	62

7 通信業務の状況

通信業務の概要	63
災害等受信件数	64

1 消 防 の 概 況



(富士山南東消防本部・三島消防署)

一目でわかる消防

(令和3年4月1日現在)

 管轄地域面積 226.98km²	 人口 203,157人 世帯 90,122世帯	 職員数 258人 うち再任用職員 8人 うち女性 5人	 令和3年度当初予算 2,711,000千円
 消防署 3署 分署 2署 分遣所 3所 指令センター 1施設	 防火対象物数 6,935対象物	 危険物施設数 506施設	 消防水利 3,554基（箇所）
 消防ポンプ車 11台 救助工作車 3台	 救急車 11台	 特殊車両 はしご車 1台 化学車 1台 水槽車 1台	 指揮車 3台 その他車両 14台
 火災統計 発生件数 44件 死者 0人 負傷者 5人	 救急統計 出動件数 7,652件 搬送人員 6,693人	 救助統計 出動件数 73件 救助人員 55人	 災害受信件数 災害通報 7,680件

統計件数については、令和2年1月1日から令和2年12月31日までの間の件数を示しています。

令和2年 市町別署所別災害出動件数

令和2年1月1日～令和2年12月31日

発生場所 災害種別		三 島 市	裾 野 市	長 泉 町	合 計	前 年	増 減
火 災	災害件数(件)	24	15	5	44	43	1
	三 島 消 防 署	15	3	1	19	23	△ 4
	北 分 署	9	0	1	10	21	△ 11
	錦 田 分 遣 所	10	0	0	10	6	4
	中 郷 分 遣 所	8	0	0	8	4	4
	裾 野 消 防 署	0	11	2	13	21	△ 8
	伊 豆 島 田 分 署	0	9	1	10	0	10
	茶 畑 分 遣 所	0	0	0	0	9	△ 9
	須 山 分 遣 所	0	5	0	5	0	5
	長 泉 消 防 署	4	2	4	10	20	△ 10
救 助	災害件数(件)	40	13	20	73	97	△ 24
	三 島 消 防 署	37	0	7	44	53	△ 9
	北 分 署	15	0	10	25	45	△ 20
	錦 田 分 遣 所	17	0	0	17	23	△ 6
	中 郷 分 遣 所	3	0	0	3	11	△ 8
	裾 野 消 防 署	2	13	1	16	33	△ 17
	伊 豆 島 田 分 署	3	9	4	16	0	16
	茶 畑 分 遣 所	0	2	0	2	20	△ 18
	須 山 分 遣 所	0	6	0	6	7	△ 1
	長 泉 消 防 署	8	5	20	33	38	△ 5
警 戒 そ の 他	災害件数(件)	683	269	260	1,212	1,326	△ 114
	三 島 消 防 署	380	2	5	387	400	△ 13
	北 分 署	256	3	37	296	328	△ 32
	錦 田 分 遣 所	132	0	0	132	126	6
	中 郷 分 遣 所	107	0	0	107	145	△ 38
	裾 野 消 防 署	6	232	5	243	334	△ 91
	伊 豆 島 田 分 署	55	68	34	157	0	157
	茶 畑 分 遣 所	5	22	4	31	139	△ 108
	須 山 分 遣 所	0	32	0	32	29	3
	長 泉 消 防 署	56	16	220	292	268	24
救 急	災害件数(件)	4,215	1,870	1,567	7,652	8,546	△ 894
	三 島 消 防 署	2,243	2	18	2,263	2,556	△ 293
	北 分 署	1,590	8	207	1,805	2,210	△ 405
	錦 田 分 遣 所	-	-	-	-	-	-
	中 郷 分 遣 所	-	-	-	-	-	-
	裾 野 消 防 署	6	798	4	808	1,005	△ 197
	伊 豆 島 田 分 署	236	609	173	1,018	0	1,018
	茶 畑 分 遣 所	45	199	13	257	840	△ 583
	須 山 分 遣 所	0	211	1	212	264	△ 52
	長 泉 消 防 署	95	43	1,151	1,289	1,671	△ 382

※ 市町別署所別災害出動件数は、指揮車やその他車両等を除いた出動計画により部隊編成される車両の出動件数を示します。

※ 災害種別『火災』、『救助』及び『警戒その他』は、災害事案1件に対して、複数の署所から出動する場合があります、1つの署所から2台以上の消防車両が出動した場合においても、1件として計上してあります。

※ 北分署は、北分遣所として令和2年3月31日まで運用し、4月1日から改めたもの。

※ 伊豆島田分署は、令和2年4月1日から運用を開始した。

※ 茶畑分遣所は、令和2年3月31日に運用を終了した。

富士山南東消防のあゆみ

平成 28 年	4 月	富士山南東消防本部の運用を開始
〃	9 月	消防広域化による様々なスケールメリットを生かした中長期的な消防本部のあり方を検討するため、若手・中堅職員 8 名で構成された「富士山南東消防本部あり方検討委員会」を開催。平成 29 年 3 月までに 13 回開催。
〃	12 月	消防ポンプ車 1 台を更新し、北分遣所に配置した。 高規格救急車 1 台を更新し、北分遣所に配置した。 資機材搬送車 1 台を更新し、三島消防署に配置した。
平成 29 年	3 月	指揮広報車 1 台を更新し、裾野消防署に配置した。
〃	4 月	指揮支援隊を発隊。
		隔日勤務者の勤務体制を 2 部制に統一する。
		違反対象物公表制度の運用を開始
〃	8 月	第 46 回全国消防救助技術大会に出場。「ほふく救出」で入賞を果たす。
〃	11 月	はしご付消防自動車 1 台を更新し、三島消防署に配置した。
平成 30 年	11 月	高規格救急車 1 台を更新し、裾野消防署に配置した。
平成 31 年	2 月	水槽付消防ポンプ車 1 台を更新し、須山分遣所に配置した。
		連絡車 1 台を更新し、裾野消防署に配置した。
		指揮車 1 台を更新し、長泉消防署に配置した。
令和元年	12 月	救助工作車 1 台を更新し、三島消防署に配置した。
令和 2 年	1 月	総務省消防庁から緊急消防援助隊装備品として、高性能ボート 1 台の貸与を受け、三島消防署に配備した。
〃	2 月	高規格救急車 1 台を更新し、長泉消防署に配置した。
〃	4 月	北分遣所を北分署に改めた。
		茶畑分遣所を廃し、伊豆島田分署を設置した。
		伊豆島田分署設置に伴い、三島市及び裾野市において一部管轄区域の見直しを行った。 指揮支援隊を廃し、指揮隊を発隊した。
〃	11 月	連絡車 1 台を更新し、三島消防署に配置した。
		広報車 2 台を更新し、消防本部及び長泉消防署に配置した。
令和 3 年	3 月	高規格救急車 1 台を更新し、伊豆島田分署に配置した。

歴代正副管理者及び歴代消防長

(令和3年4月1日現在)

管理者

氏 名	就任年月	退任年月	備 考
豊岡 武士	平成28年1月	—	三島市長

副管理者

氏 名	就任年月	退任年月	備 考
高村 謙二	平成28年1月	—	裾野市長
遠藤日出夫	平成28年1月	平成29年9月	長泉町長
中村 正藏	平成28年1月	平成29年3月	三島市副市長
池田 修	平成29年10月	—	長泉町長

消防長

氏 名	就任年月	退任年月	備 考
齋藤 忍	平成28年4月	平成31年3月	
風間 光明	平成31年4月	—	

歴代組合議会議長及び副議長

(令和3年4月1日現在)

議長

氏 名	就任年月	退任年月	備 考
土屋 俊博	平成28年4月	平成31年2月	
松田 吉嗣	令和元年5月	—	

副議長

氏 名	就任年月	退任年月	備 考
杉本 和男	平成28年4月	平成30年10月	
佐野 利安	平成31年2月	—	

管轄地域の概要

地勢

静岡県の東部に位置するこの地域は、世界文化遺産の富士山の麓に、東には箱根外輪山、西には愛鷹連山、南に駿河湾を望み、豊富な地下水にも恵まれ、美しい自然に囲まれた地域である。

近年では、新東名高速道路や伊豆縦貫自動車道が開通し、東海道新幹線等の鉄道網と共に交通アクセスの利便性にも優れている。

面積・人口・世帯数

富士山南東消防本部が管轄する地域は、226.98 km²の面積に 203,157 人の住民が生活している。

(令和3年4月1日現在)

区 分 \ 地 域	合 計	三島市	裾野市	長泉町	受託地区 ¹
面 積 (km ²)	226.98	62.02	138.12	26.63	0.21
人 口 (人)	203,157	108,788	50,770	43,524	75
世帯数 (世帯)	90,122	49,770	21,786	18,525	41

¹ 御殿場市から受託した御殿場市神山須釜地区。

位置図



予 算

令和 3 年度 富士山南東消防組合会計 当初予算

歳 入

款	金額（千円）
1 分担金及び負担金	2,574,326
2 使用料及び手数料	3,055
3 国庫支出金	1
4 県支出金	13,741
5 財産収入	1
6 寄附金	1
7 繰越金	1
8 諸収入	29,974
9 組合債	89,900
合 計	2,711,000

歳 出

款	金額（千円）
1 議会費	1,052
2 総務費	68,845
3 消防費	2,585,484
4 公債費	42,028
5 予備費	13,591
合 計	2,711,000

予算額の人口世帯費

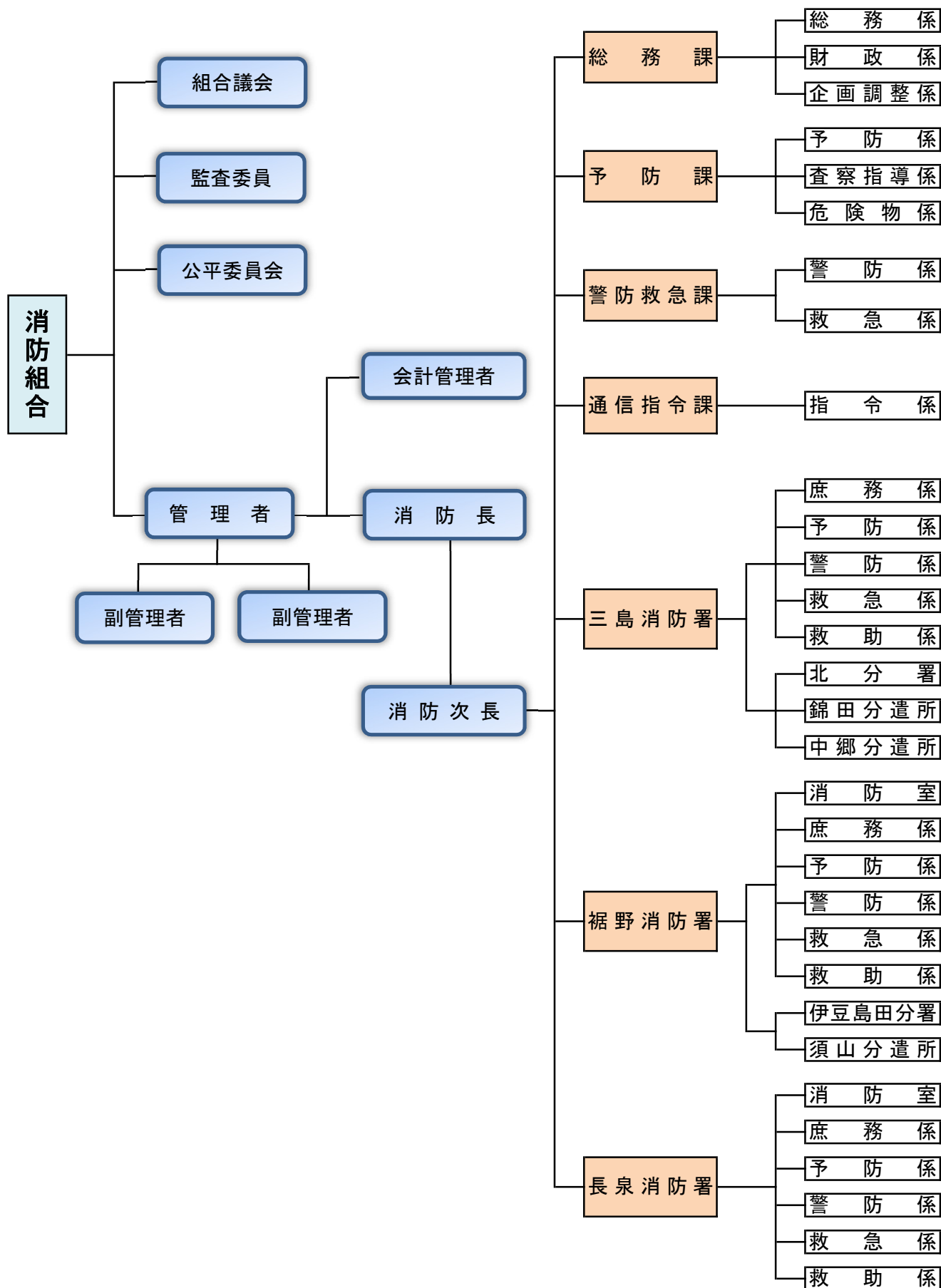
（令和 3 年 4 月 1 日現在）

当初予算額（千円）	管轄地域の人口 一人当たり（円）	管轄地域の世帯 一世帯当たり（円）
2,711,000	13,344	30,081

令和3年度 富士山南東消防組合会計 当初予算 款別（節別）明細書

款 節	01 議会費	02 総務費	03 消防費	04 公債費	05 予備費	合計 (千円)	構成比 (%)
01 報酬	678	824				1,502	0.06
02 給料		111	951,243			951,354	35.09
03 職員手当等			905,373			905,373	33.40
04 共済費			339,833			339,833	12.54
05 報償費		100	372			472	0.02
08 旅費	38	672	6,864			7,574	0.28
09 交際費	50	50	30			130	0.00
10 需用費	51	13,669	92,865			106,585	3.93
11 役務費	127	5,935	25,429			31,491	1.16
12 委託料		16,842	115,692			132,534	4.89
13 使用料及び賃借料	108	27,255	9,198			36,561	1.35
15 原材料費			60			60	0.00
17 備品購入費			107,897			107,897	3.98
18 負担金補助及び交付金		3,387	28,901			32,288	1.19
22 償還金利子及び割引料				42,028		42,028	1.55
26 公課費			1,727			1,727	0.06
28 予備費					13,591	13,591	0.50
合 計	1,052	68,845	2,585,484	42,028	13,591	2,711,000	100.00

組合の組織図



職員の階級別配置状況

(令和3年4月1日現在)

階級 区分	合 計 (人)	消防 正監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	事務 職員
合 計 ²	258 (5) 【8】	1	6	6	41	59 【7】	43 【1】	65 (3)	37 (2)	1
消 防 長	1	1								
消 防 次 長	1		1							
総 務 課	20 【2】		1		3	9 【2】	2	1	4	1
予 防 課	9 【1】			1	3	2 【1】	1	2		
警 防 救 急 課	15 【1】		1	1	5	6 【1】	2			
消 防 本 部	8 【1】		1		3	3 【1】	1			
指 揮 隊	7			1	2	3	1			
通 信 指 令 課	19 【1】			1	4	5	5 【1】	4		
三 島 消 防 署	89 (2) 【1】		1	1	10	17 【1】	16	27 (1)	17 (1)	
消 防 署	51 (2) 【1】		1	1	6	8 【1】	8	16 (1)	11 (1)	
北 分 署	18				2	5	4	4	3	
錦 田 分 遣 所	10				1	3		4	2	
中 郷 分 遣 所	10				1	1	4	3	1	
裾 野 消 防 署	67 (3) 【1】		1	1	10	13 【1】	11	20 (2)	11 (1)	
消 防 署	39 (3) 【1】		1	1	7	8 【1】	4	11 (2)	7 (1)	
伊豆島田分署	18				2	4	2	7	3	
須 山 分 遣 所	10				1	1	5	2	1	
長 泉 消 防 署	37 【1】		1	1	6	7 【1】	6	11	5	

() は内数で、女性消防吏員数を、【 】 は内数で、再任用職員数を示す。

² 合計は事務職員を除く

職員の階級別年齢状況

(令和3年4月1日現在)

階級 年齢	合 計 (人)	消防 正監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士
合 計	258 (5) 【8】	1	6	6	41	59 【7】	43 【1】	65 (3)	37 (2)
18 歳	2								2
19 歳	4								4
20 歳	3								3
21 歳	3								3
22 歳	2								2
23 歳	6								6
24 歳	7								7
25 歳	6 (1)								6 (1)
26 歳	5 (1)							4	1 (1)
27 歳	11							8	3
28 歳	9							9	
29 歳	16 (1)							16 (1)	
30 歳	10							10	
31 歳	1							1	
32 歳	13 (2)						3	10 (2)	
33 歳	10						3	7	
34 歳	9						9		
35 歳	4						4		
36 歳	5						5		
37 歳	9					3	6		
38 歳	5					3	2		
39 歳	3						3		
40 歳	3					1	2		
41 歳	9					7	2		
42 歳	5					4	1		
43 歳	6					5	1		
44 歳	3					3			
45 歳	10				1	9			
46 歳	9				2	6	1		
47 歳	8				3	5			
48 歳	6				2	4			
49 歳	5				4	1			
50 歳	7				7				
51 歳	5				4	1			
52 歳	2				2				
53 歳	7				7				
54 歳	4			1	3				
55 歳	3		1	1	1				
56 歳	3				3				
57 歳	4		2		2				
58 歳	5		2	3					
59 歳	3	1	1	1					
60 歳	2 【2】					2 【2】			
61 歳	3 【3】					3 【3】			
62 歳	3 【3】					2 【2】	1 【1】		

() は内数で、女性消防吏員数を、【 】 は内数で、再任用職員数を示す。

職員の階級別勤続年数

(令和3年4月1日現在)

階級 勤続年数	合 計 (人)	消防 正監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士
合 計	258 (5) 【8】	1	6	6	41	59 【7】	43 【1】	65 (3)	37 (2)
1年未満	6 【2】					2 【2】			4
1 年	11 【3】					3 【3】			8
2 年	8 【3】					2 【2】	1 【1】		5
3 年	9 (1)								9 (1)
4 年	10							6	4
5 年	8 (1)							5	3 (1)
6 年	12							8	4
7 年	12 (1)							12 (1)	
8 年	10 (1)							10 (1)	
9 年	7						2	5	
10 年	11						2	9	
11 年	8						2	6	
12 年	12 (1)						8	4 (1)	
13 年	6						6		
14 年	8						8		
15 年	7					2	5		
16 年	3					2	1		
17 年	4					4			
18 年	6					4	2		
19 年	7					6	1		
20 年	3					1	2		
21 年	1						1		
22 年	7					6	1		
23 年	5					5			
24 年	4					4			
25 年	8				2	6			
26 年	6				2	3	1		
27 年	8				3	5			
28 年	7				5	2			
29 年	5				4	1			
30 年	5			1	3	1			
31 年	5				5				
32 年	5				5				
33 年	4		1		3				
34 年	2				2				
35 年	4				4				
36 年	1				1				
37 年	7	1	3	2	1				
38 年	1		1						
39 年	1				1				
40 年	3		1	2					
41 年	1			1					

() は内数で、女性消防吏員数を、【 】 は内数で、再任用職員数を示す。

職員教育の実施状況

令和2年度受講分

受講科目			人数
消防大学校	総合教育	幹部科	1
	専科教育	警防科	1
		予防科	1
		新任教官科	1
	その他	査察業務マネジメントコース	1
静岡県消防学校	初任教育	初任科	8
	幹部教育	中級幹部科	2
	専科教育	救助科	4
		警防科	4
		予防査察・危険物科	4
		救急科	9
		火災調査科	4
		実践的大規模災害対応講習	4
	特別教育	指令センター員講習	2
		処置拡大追加講習	7
		女性消防吏員講習	1
	救急救命東京研修所	救急救命士研修課程	2
階層別研修	市町村振興協会	新任管理者研修	2
		新任監督者研修	2
		中堅職員研修	2
		行政訴訟研修	1
		民法研修	1
	近隣市町合同研修	新任課長級研修	2
		新任課長補佐級研修	2
		新任係長級研修	3
		新任主任研修	3
		法制執務研修	1

受講科目		人数
安全衛生管理	安全衛生推進者養成講習	7

講習名		人数
資格取得講習等	玉掛け技能講習（一般コース）	6
	小型移動式クレーン運転技能講習	6
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	6
	伐木等業務従事者特別教育追加講習	38
	2級小型船舶操縦士	2
	ロープレスキュー講習	19
	国民保護CRテロ初動セミナー	1
	安全運転講習	12

消防施設の状況

(令和3年4月1日現在)

富士山南東消防本部

運用開始年月 平成28年4月

所在地 三島市南田町4番40号

体制 1消防本部 3消防署 2分署 3分遣所

三島消防署

運用開始年月 平成18年9月

敷地面積 6,466.58 m²

延べ面積 3,506.81 m²

建築経費 947 百万円

所在地 三島市南田町4番40号



北分署

運用開始年月 昭和59年1月

敷地面積 1,184.20 m²

延べ面積 305.70 m²

建築経費 47 百万円

所在地 三島市文教町2丁目1番32号



錦田分遣所

運用開始年月 平成9年3月

敷地面積 449.72 m²

延べ面積 131.18 m²

建築経費 55 百万円

所在地 三島市谷田(並木) 294 番地の1



中郷分遣所

運用開始年月 昭和49年5月

敷地面積 410.92 m²

延べ面積 158.80 m²

建築経費 11 百万円

所在地 三島市中島 85 番地の14



消防指令センター

運用開始年月 平成 27 年 10 月
延べ面積 328.23 m²

建築経費 167.4 百万円
所 在 地 三島市南田町 4 番 40 号

裾野消防署

運用開始年月 平成 15 年 3 月
敷地面積 4,555.00 m²
延べ面積 3,447.80 m²
建築経費 1,135 百万円
所 在 地 裾野市石脇 515 番地

伊豆島田分署

運用開始年月 令和 2 年 4 月
敷地面積 1,803.20 m²
延べ面積 955.63 m²
建築経費 466 百万円
所 在 地 裾野市伊豆島田 343 番地の 1



須山分遣所

運用開始年月 平成 21 年 12 月
敷地面積 1,991.45 m²
延べ面積 414.49 m²
建築経費 179 百万円
所 在 地 裾野市須山 1545 番地の 8

長泉消防署

運用開始年月 平成元年 3 月
敷地面積 1,515.73 m²
延べ面積 1,627.73 m²
建築経費 277 百万円
所 在 地 駿東郡長泉町中土狩 910 番地の 1



消防車両の状況

(令和3年4月1日現在)

消防ポンプ自動車	11 台 (水槽付を含む。)
救急自動車	11 台
救助工作車	3 台
化学消防車	1 台
はしご付消防自動車	1 台
小型動力ポンプ付水槽車	1 台
指揮車	3 台
その他の車両	14 台

以下において配置場所を示す。

【消防本部】

車両名称	整備年度	緊援隊登録	特定財源等
指令車 (三島 51)	H17	-	その他
広報車 (三島 52)	R2	-	-
連絡車	R2	-	-
ミニ消防車 (三島 72)	H24	-	その他
救急普及啓発広報車	H26	-	その他

【三島消防署】

車両名称	整備年度	緊援隊登録	特定財源等
水槽付消防ポンプ自動車 (三島 2)	H15	○	国庫
小型動力ポンプ付水槽車 (三島 10)	H11	-	-
はしご付消防自動車 (三島 31)	H29	-	-
救助工作車 (三島 41)	H31	○	国庫
救急自動車 (救急三島 2)	H23	-	-
救急自動車 (救急三島 4)	H22	○	国庫
指揮車 (三島指揮 1)	H23	-	-
資機材搬送車 (三島 71)	H28	-	-

【北分署】

車両名称	整備年度	緊援隊登録	特定財源等
消防ポンプ自動車（三島 1）	H28	-	-
水槽付消防ポンプ自動車（三島 3）【非常用】 ³	H10	-	-
救急自動車（救急三島 1）	H28	-	-
救急自動車（救急三島 5）	H24	-	その他

【錦田分遣所】

車両名称	整備年度	緊援隊登録	特定財源等
消防ポンプ自動車（三島 5）	H24	-	-

【中郷分遣所】

車両名称	整備年度	緊援隊登録	特定財源等
水槽付消防ポンプ自動車（三島 4）	H22	○	国庫

【裾野消防署】

車両名称	整備年度	緊援隊登録	特定財源等
水槽付消防ポンプ自動車（裾野 1）	H19	-	国庫（防）
消防ポンプ自動車（裾野 5）【非常用】 ³	H14	-	国庫（防）
化学消防車（裾野 6）	H27	-	国庫（防）
救助工作車（裾野 41）	H27	-	国庫（防）
救急自動車（救急裾野 1）	H30	-	その他
指揮車（裾野指揮 1）	H20	-	-
指揮広報車（裾野 61）	H28	-	-
防火指導車（裾野 62）	H24	-	-
資機材搬送車（裾野 71）	H26	○	-
連絡車	H30	-	-

³ 非常用消防ポンプ自動車とは、非常時の場合又は稼働中の消防用自動車等が故障した場合等に使用する車両である。

【伊豆島田分署】

車両名称	整備年度	緊援隊登録	特定財源等
水槽付消防ポンプ自動車（裾野 4）	H17	-	国庫（防）
救急自動車（救急裾野 2）	H23	○	その他
救急自動車（救急裾野 3）	R2	-	-
連絡車（裾野 73）	H17	-	-

【須山分遣所】

車両名称	整備年度	緊援隊登録	特定財源等
水槽付消防ポンプ自動車（裾野 3）	H30	○	国庫
救急自動車（救急裾野 5）	H21	-	国庫（防）
連絡車（裾野 75）	H21	-	その他

【長泉消防署】

車両名称	整備年度	緊援隊登録	特定財源等
水槽付消防ポンプ自動車（長泉 1）	H23	○	国庫
消防ポンプ自動車（長泉 3）	H26	-	-
救助工作車（長泉 41）	H11	-	その他
救急自動車（救急長泉 1）	H31	-	その他
救急自動車（救急長泉 2）【非常用】 ⁴	H20	-	-
救急自動車（救急長泉 3）【非常用】 ⁴	H23	-	その他
指揮車（南東指揮 1）	H30	-	その他
広報車（長泉 52）	R2	-	-
作業車（長泉 61）	H25	-	-

⁴ 非常用救急自動車とは、多数の傷病者が発生した場合又は稼働中の救急自動車が故障した場合等に使用する車両である。

消防無線の状況

(令和3年4月1日現在)

	種別	配 置 場 所	呼 出 名 称	出 力
三 島 消 防 署	基 地 局	消 防 指 令 セ ン タ ー	み し ま し れ い	5 W
	〃	三 島 消 防 署	み し ま し ょ う ぼ う	〃
	移 動 局	指 揮 車	み し ま し き 1	〃
	〃	消 防 ポ ン プ 自 動 車	み し ま 1	〃
	〃	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	〃 2	〃
	〃	〃	〃 3	〃
	〃	〃	〃 4	〃
	〃	消 防 ポ ン プ 自 動 車	〃 5	〃
	〃	小 型 動 力 ポ ン プ 付 水 槽 車	〃 10	〃
	〃	は し ご 付 消 防 自 動 車	〃 31	〃
	〃	救 助 工 作 車	〃 41	〃
	〃	指 令 車	〃 51	〃
	〃	広 報 車	〃 52	〃
	〃	資 機 材 搬 送 車	〃 71	〃
	〃	ミ ニ 消 防 車	〃 72	〃
	〃	救 急 自 動 車	き ゅ う き ゅ う み し ま 1	〃
	〃	〃	〃 2	〃
	〃	〃	〃 4	〃
	〃	〃	〃 5	〃
	〃	三 島 消 防 署	み し ま か は ん 1	〃
	携 帯 無 線	三 島 消 防 署	み し ま 101~136	2 W
裾 野 消 防 署	基 地 局	裾 野 消 防 署	す そ の し ょ う ぼ う	5 W
	移 動 局	指 揮 車	す そ の し き 1	〃
	〃	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	す そ の 1	〃
	〃	〃	〃 3	〃
	〃	〃	〃 4	〃
	〃	消 防 ポ ン プ 自 動 車	〃 5	〃
	〃	化 学 消 防 車	〃 6	〃
	〃	救 助 工 作 車	〃 41	〃
	〃	指 揮 広 報 車	〃 61	〃
	〃	防 火 指 導 車	〃 62	〃
	〃	資 機 材 搬 送 車	〃 71	〃
	〃	連 絡 車	〃 73	〃
	〃	〃	〃 75	〃
	〃	救 急 自 動 車	き ゅ う き ゅ う す そ の 1	〃
	〃	〃	〃 2	〃
	〃	〃	〃 3	〃
	〃	〃	〃 5	〃
	〃	裾 野 消 防 署	す そ の た く じ ょ う 1	〃
	〃	〃	す そ の か は ん 1	〃
	〃	〃	〃 2	〃
	〃	〃	〃 3	〃
	携 帯 無 線	裾 野 消 防 署	す そ の 101~118	2 W

	種別	配 置 場 所	呼 出 名 称	出 力
長 泉 消 防 署	基地局	長 泉 消 防 署	ながいずみしょうぼう	1 W
	移動局	水槽付消防ポンプ自動車	な が い ず み 1	5 W
	〃	消 防 ポ ン プ 自 動 車	〃 3	〃
	〃	救 助 工 作 車	〃 41	〃
	〃	指 揮 車	な ん と う し き 1	〃
	〃	広 報 車	な が い ず み 52	〃
	〃	作 業 車	〃 61	〃
	〃	救 急 自 動 車	きゅうきゅうながいずみ 1	〃
	〃	〃	〃 2	〃
	〃	〃	〃 3	〃
	〃	長 泉 消 防 署	ながいずみたくじょう 1	〃
	〃	〃	な が い ず み か は ん 1	〃
	〃	〃	〃 2	〃
	携帯無線	長 泉 消 防 署	な が い ず み 101～112	2 W

消防水利の状況

(令和3年4月1日現在)

種 別 \ 地 域		合 計	三島市	裾野市	長泉町
合 計 (その他を除く)		3,554	1,830	1,059	665
消 火 栓	計	2,628	1,407	801	420
	公 設	2,553	1,350	792	411
	私 設	75	57	9	9
防 火 水 槽	合 計	926	423	258	245
	公 設	計	568	256	82
		小 計	408	184	64
		100 m ³ 以 上	25	6	6
		60 m ³ 以上 100 m ³ 未 満			
		40 m ³ 以上 60 m ³ 未 満	381	178	56
		20 m ³ 以上 40 m ³ 未 満	2		2
		小 計	160	72	18
		100 m ³ 以 上			
		60 m ³ 以上 100 m ³ 未 満	6		
		40 m ³ 以上 60 m ³ 未 満	97	44	35
		20 m ³ 以上 40 m ³ 未 満	57	22	35
		計	358	167	28
	私 設	100 m ³ 以 上	28	16	4
		60 m ³ 以上 100 m ³ 未 満	33	19	1
		40 m ³ 以上 60 m ³ 未 満	218	106	20
		20 m ³ 以上 40 m ³ 未 満	79	26	3

2 人事行政の運営等の状況



(職員研修の様子)

人事行政の運営等の状況

富士山南東消防組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例(以下「条例」という。)第7条の規定に基づき、条例第3条及び第5条各号の項目について、本消防年報に掲載する。

なお、条例第2条及び第4条の規定により、本消防年報に関しては、令和2年度の人事行政の運営等の状況について掲載する。

任免及び職員数に関する状況

職員採用者数

区分	令和 2 年 4 月 1 日
	採用者数
消防吏員（人）	12 【4】

※ 【 】 は内数で再任用職員を示す

職員数

区分	令和 2 年度	令和元年度
消防職員（人）	257 【7】	252 【4】
うち女性職員（人）	5	5

※ 【 】 は内数で再任用職員を示す

再任用の状況

区分		令和 2 年度 令和 2 年 4 月 1 日	令和元年度 平成 31 年 4 月 1 日
消防吏員	採用者数（人）	4	4
	任期更新者数（人）	3	0

人事評価の状況

人事評価制度は、地方公務員法第 23 条の規定に基づき、人事管理の基礎とするほか、職員の能力向上を図り、意識改革を進めるとともに、組織目標の達成と職場内のコミュニケーションを活性化させることを目的として実施しています。

給与の状況

人件費の状況

(令和元年度決算)

住民基本台帳人口 ⁵ (人) (令和 2 年 1 月 1 日現在)	歳出総額 A (千円)	人件費 B (千円)	人件費率 B / A (%)
204, 009	3, 211, 912	2, 139, 137	66. 6

職員給与費の状況

(令和元年度決算)

職員数 ⁶ A (人)	給与費 ⁸ (千円)				一人当たり 給与費 B / A (千円)
	給料	職員手当 ⁷	期末・勤勉手当	計 B	
248	925, 204	367, 191	390, 411	1, 682, 806	6, 786

職員の初任給の状況

(令和 2 年 4 月 1 日現在)

区分	初任給の額
大学卒	194, 900 円
短大卒	176, 900 円
高校卒	160, 100 円

⁵ 住民基本台帳人口は、三島市、裾野市及び長泉町の合計である。

⁶ 職員数は、平成 31 年 4 月 1 日現在の人数である。

⁷ 職員手当には退職手当を含まない。

⁸ 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況

(令和2年4月1日現在)

平均年齢	平均給料月額 ⁹	平均給与月額 ¹⁰
37.3 歳	305,993 円	398,012 円

行政職の級別職員数及び給料表の状況

(令和2年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	階級	職員数 (人)	構成比 (%)
1 級	消防士の職務	消 防 士	19	7.4
2 級	1 消防副士長の職務 2 高度の知識又は経験を必要とする消防士の職務	消 防 士 消防副士長	67	26.0
3 級	1 消防士長の職務 2 高度の知識又は経験を必要とする消防副士長の職務	消防副士長 消 防 士 長	52	20.1
4 級	1 消防司令補の職務 2 高度の知識又は経験を必要とする消防士長の職務	消 防 士 長 消防司令補	40	15.5
5 級	係長、副分遣所長又は主任の職務	消防司令補	30	11.6
6 級	統括主幹、課長補佐、室長、当直司令、分遣所長又は主幹の職務	消 防 司 令	36	14.3
7 級	1 課長又は消防署長の職務 2 課長、副参事又は消防副署長の職務	消防司令長 消 防 監	11	4.3
8 級	1 消防長の職務 2 消防次長又は参事の職務	消 防 監 消 防 正 監	2	0.8

⁹ 「平均給料月額」とは、職員の基本給の平均である。

¹⁰ 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当等の全ての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

期末手当・勤勉手当

富士山南東消防組合	国
一人当たり平均支給額(令和元年度) 1,566 千円	—
令和元年度支給割合 () は再任用職員 期末手当 勤勉手当 2.6 月分 1.8 月分 (1.30) 月分 (0.90) 月分	令和元年度支給割合 () は再任用職員 期末手当 勤勉手当 2.6 月分 1.8 月分 (1.30) 月分 (0.90) 月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%～20% ・管理職加算 15%～25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%～20% ・管理職加算 15%～25%

退職手当

(令和2年4月1日現在)

富士山南東消防組合	国
(支給率) 自己都合 ¹¹ 応募認定・定年 ¹¹ 勤続20年 19.6695 月分 24.586875 月分 勤続25年 28.0395 月分 33.27075 月分 勤続35年 39.7575 月分 47.709 月分 最高限度額 47.709 月分 47.709 月分 その他加算措置 定年前早期退職特例措置 (2%～45%加算) (退職時特別昇給 制度なし) 一人当たり平均支給額 ¹² 23,412 千円	(支給率) 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 19.6695 月分 24.586875 月分 勤続25年 28.0395 月分 33.27075 月分 勤続35年 39.7575 月分 47.709 月分 最高限度額 47.709 月分 47.709 月分 その他加算措置 定年前早期退職特例措置 (2%～45%加算)

地域手当

(令和2年4月1日現在)

支給実績(令和元年度決算)	58,874 千円
支給職員一人当たり平均支給年額(令和元年度決算)	237,396 円
支給率	6%
支給対象職員数	248 人

¹¹ 支給率は、静岡県市町総合事務組合の規定に基づくものである。

¹² 一人当たり平均支給額は、令和元年度に退職した職員に支給された平均額である。

特殊勤務手当

(令和 2 年 4 月 1 日現在)

支給実績（令和元年度決算）	22,272 千円
支給職員一人当たり平均支給年額（令和元年度決算）	111,917 円
職員全体に占める手当支給職員の割合（令和元年度決算）	80.2%
手当の種類（手当数）	3

手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 (令和元年度決算)	左記職員に対する支給単価
深夜勤務手当	消防吏員	交替制勤務を行う者のうち、深夜(午後 10 時から翌日午前 5 時までをいう。)に消防業務に従事したもの	11,927 千円	1 勤務につき 500 円
救急出動手当		救急業務に従事した者	6,832 千円	1 件につき 250 円
救急救命士手当		救急救命士法による救急救命士免許を有し、救急業務に従事した者	3,513 千円	1 件につき 250 円

勤務時間その他の勤務条件の状況

区分	毎日勤務者	交代制勤務者
勤務時間	午前 8 時 30 分から 午後 5 時 15 分まで	4 週間を平均して 1 週間につき 38 時間 45 分とし、午前 8 時 30 分から翌日午前 8 時 30 分までの間において、所属長が定める。
休憩時間	正午から午後 1 時まで	勤務時間の途中において 1 時間ずつ 2 回とする。 また、午後 8 時から翌日午前 7 時 30 分までの間において 6 時間 30 分の睡眠時間を与えるものとし、その割振りは、所属長が定める。
週休日	日曜日及び土曜日	4 週当たり 8 日とし、その割振りは所属長が定める。

情報公開請求の状況

(令和 2 年度)

公開請求件数		3	件
	義務的開示	3	件
	任意的開示	0	件
請求に対する処理状況件数		3	件
	全部開示	0	件
	一部開示	3	件
	請求拒否	0	件
	請求取下げ	0	件
	その他	0	件

3 火災の状況



(放水訓練)

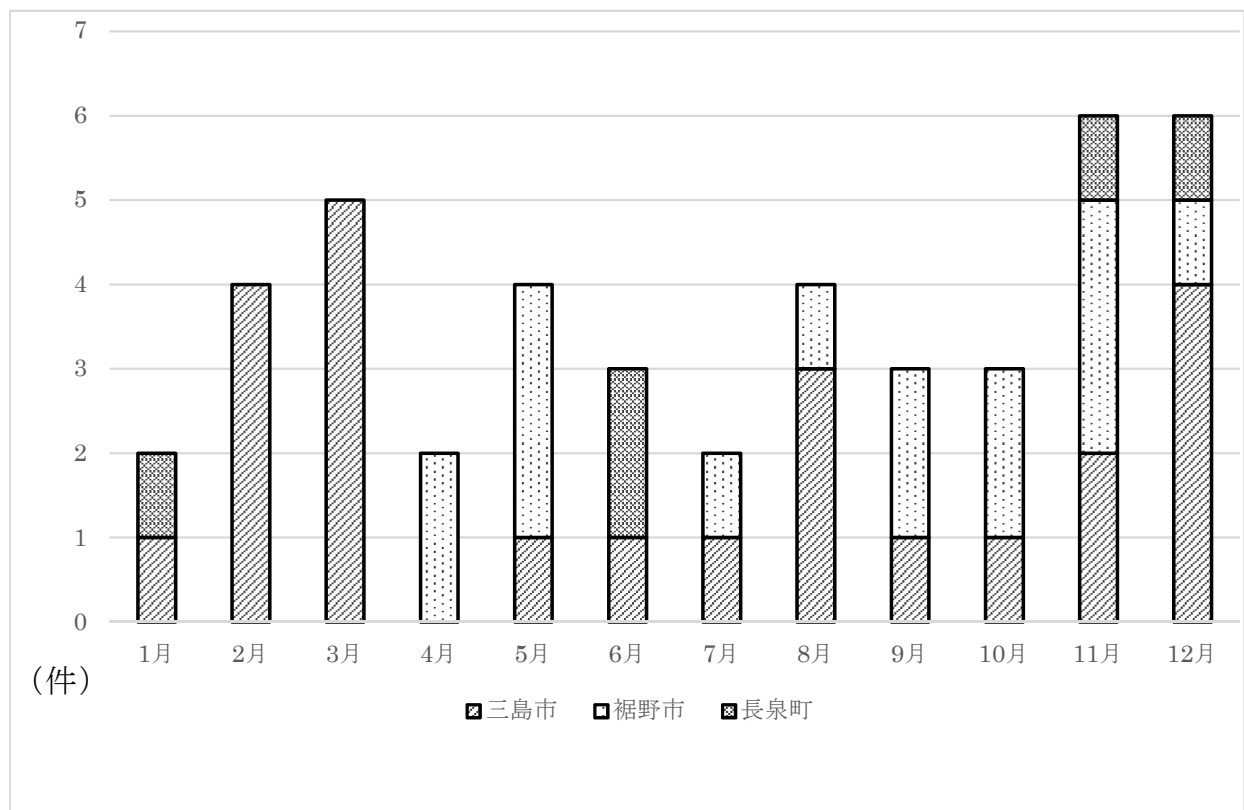
火災の概要

令和2年中の管轄地域における火災件数は44件であった。

火災種別では「建物火災」24件（54.5%）、「車両火災」8件（18.2%）、「その他の火災」10件（22.8%）、「林野火災」2件（4.5%）で、地域別の火災件数は、「三島市」24件、「裾野市」15件、「長泉町」5件となっている。

〔月別火災発生件数〕

（令和2年1月1日～令和2年12月31日）



火災の概況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

地 域		合 計	三島市	裾野市	長泉町
区 分					
出火件数	計 (件)	44	24	15	5
	建物火災	24	15	8	1
	林野火災	2	2		
	車両火災	8	2	3	3
	その他の火災	10	5	4	1
	爆発 (内数)				
建物焼損棟数	計 (棟)	27	17	9	1
	全 焼	3	1	2	
	半 焼	1	1		
	部 分 焼	5	3	2	
	ぼ や	18	12	5	1
焼損面積	床面積 (㎡)	166	73	93	
	表面積 (㎡)	11	8	3	
	林野火災 (a)	6	6		
死傷者	計 (人)	5	3	1	1
	死 者				
	負 傷 者	5	3	1	1
り災	世帯 (世帯)	10	9		1
	人員 (人)	22	21		1
損害額	計 (千円)	22,089	8,523	12,179	1,387
	建物火災	15,995	8,370	7,604	21
	林野火災				
	車両火災	5,729	138	4,225	1,366
	その他の火災	365	15	350	
出火率 ¹³ (件／万人)		2.2	2.2	2.9	1.1

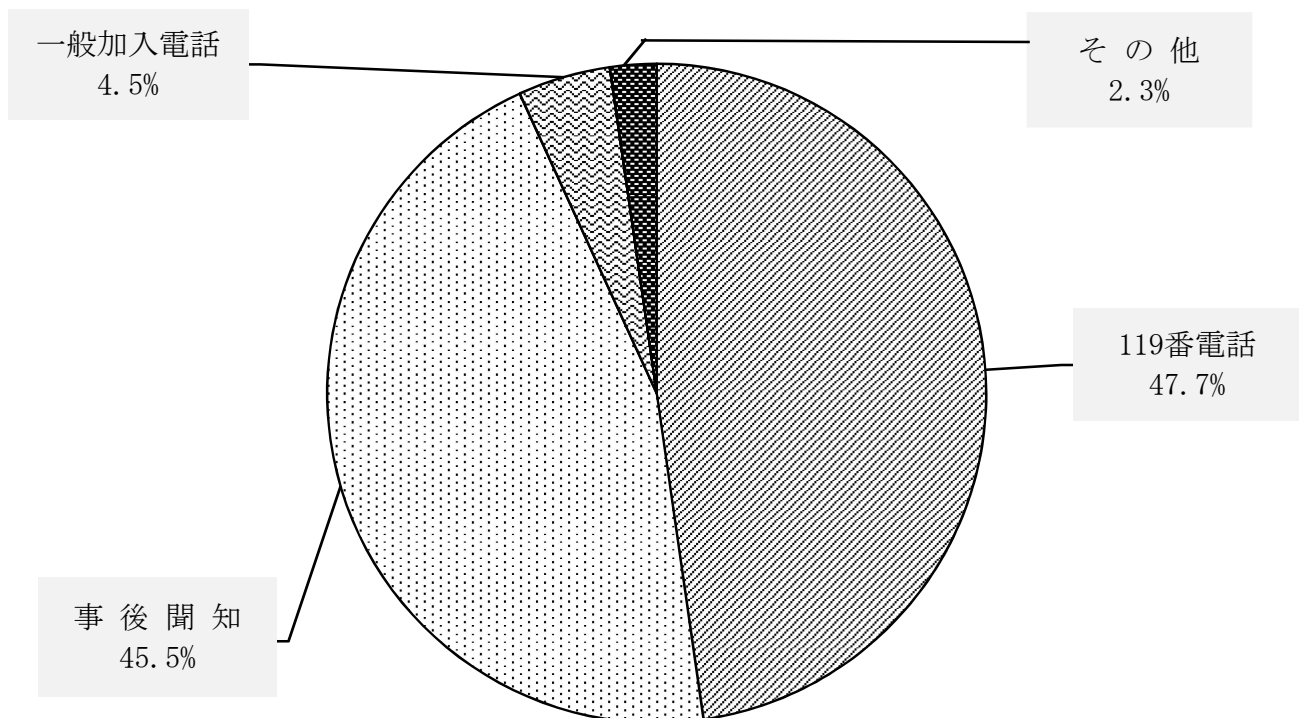
令和2年12月31日時点の人口 (人)	203,737	109,051	51,085	43,601
---------------------	---------	---------	--------	--------

※受託地区は含まない。

¹³ 出火率とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

種 別 \ 地 域	合 計	三島市	裾野市	長泉町
合 計 (件)	44	24	15	5
119番電話	21	10	9	2
事 後 聞 知	20	14	6	
一般加入電話	2			2
駆 け 付 け				
そ の 他	1			1



原因別火災件数

(令和2年1月1日～12月31日)

発生原因 (件)	三島市			裾野市			長泉町			総数	前年	増減
合 計	24	前年 13	増減 11	15	前年 19	増減 △ 4	5	前年 11	増減 △ 6	44	43	1
た ば こ	3		3		1	△ 1		1	△ 1	3	2	1
こ ん ろ	5	4	1				1	1		6	5	1
か ま ど					1	△ 1					1	△ 1
風呂かまど												
炉												
焼 却 炉		1	△ 1								1	△ 1
ス ト ー ブ	1		1	1		1				2		2
こ た つ												
ボ イ ラー												
煙突・煙道												
排 気 管	1		1	2	2		1	1		4	3	1
電 気 機 器	1	1		1	1					2	2	
電 気 装 置					2	△ 2					2	△ 2
電灯・電話等の配線	1		1	1	1					2	1	1
内 燃 機 関												
配 線 器 具	1		1	1	2	△ 1		1	△ 1	2	3	△ 1
火あそび												
マッチ・ライター	1		1		1	△ 1		1	△ 1	1	2	△ 1
た き 火												
溶接機・切断機												
灯 火		1	△ 1								1	△ 1
衝突の火花	1		1		1	△ 1				1	1	
取 灰												
火 入 れ												
放 火	1		1	1	3	△ 2				2	3	△ 1
放火の疑い	1		1				1		1	2		2
そ の 他	7	2	5	5	3	2	2	5	△ 3	14	10	4
不明・調査中		4	△ 4	3	1	2		1	△ 1	3	6	△ 3

曜日別火災件数

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

地域 時間帯	合 計	三島市	裾野市	長泉町
合 計 (件)	44	24	15	5
日	6	3	2	1
月	3	2	1	
火	8	5	1	2
水	7	5	2	
木	9	5	3	1
金	3		2	1
土	6	3	3	
不 明	2	1	1	

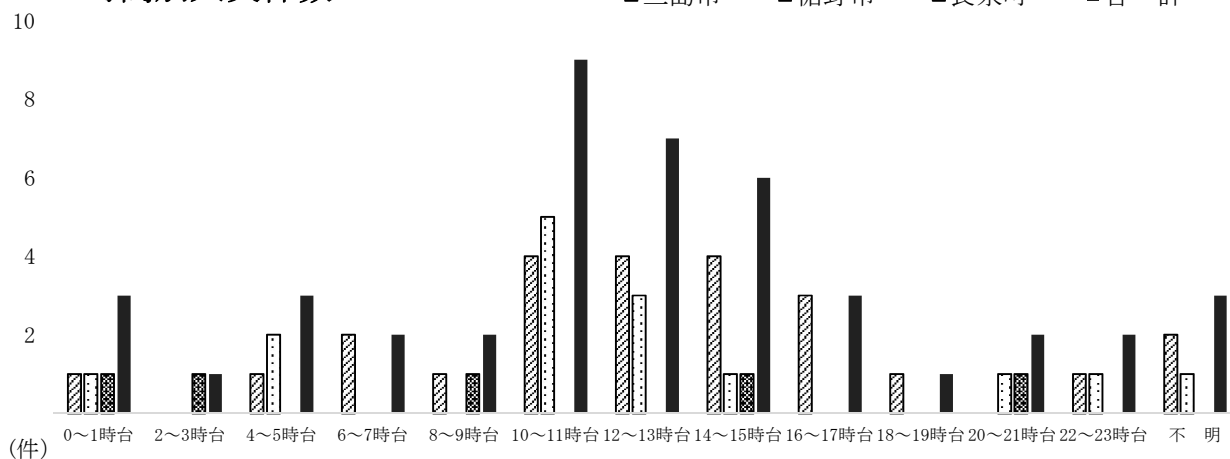
時間別火災件数

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

地域 時間帯	合 計	三島市	裾野市	長泉町
合 計 (件)	44	24	15	5
0～1時台	3	1	1	1
2～3時台	1			1
4～5時台	3	1	2	
6～7時台	2	2		
8～9時台	2	1		1
10～11時台	9	4	5	
12～13時台	7	4	3	
14～15時台	6	4	1	1
16～17時台	3	3		
18～19時台	1	1		
20～21時台	2		1	1
22～23時台	2	1	1	
不 明	3	2	1	

時間別火災件数

■三島市 □裾野市 ▨長泉町 ■合 計



月 別 火 災 発 生 状 況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

区 分	火 災 件 数					焼 損 棟 数					り 災 世 帯	り 災 人 員	面 積			死傷者(人)		損 害 額 (千 円)				
月 別	計 (件)	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 の 火 災	計 (件)	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や			焼 損 床 面 積 ㎡	焼 損 表 面 積 ㎡	林 野 火 災 a	火 災		計	建 物	林 野	車 両	そ の 他
																死 者	負 傷 者					
1月	2			1	1												809			808	1	
2月	4	4				6	1	1		4	2	3	12	3		1	412	412				
3月	5	3	2			3			1	2	1	4	11	2	6	1	3,453	3,453				
4月	2	1			1	1	1						3			1	76	37			39	
5月	4	3		1		3			1	2	1	2		3			4,068	268		3,800		
6月	3	1		1	1	1				1	1	2				1	498			498		
7月	2	1			1	1				1							3	3				
8月	4	1		2	1	1				1	1	6					520	71		138	311	
9月	3	2		1		2			1	1			80				7,575	7,225		350		
10月	3	2		1		2				2							77	2		75		
11月	6	2		1	3	2				2							100	40		60		
12月	6	4			2	5	1		2	2	4	5	60	3		1	4,498	4,484			14	
合計	44	24	2	8	10	27	3	1	5	18	10	22	166	11	6	5	22,089	15,995		5,729	365	
前年	43	25	1	10	7	38	8	3	7	20	14	44	851	20	7	3	52,044	48,765		2,885	394	
増減	1	△ 1	1	△ 2	3	△ 11	△ 5	△ 2	△ 2	△ 2	△ 4	△ 22	△ 685	△ 9	△ 1	△ 3	△ 29,955	△ 32,770		2,844	△ 29	

過 去 の 火 災 発 生 状 況

区 分	火 災 件 数					焼 損 棟 数					り 災 世 帯	り 災 人 員	面 積			死傷者(人)		損 害 額 (千 円)				
年 別	計 （ 件 ）	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 の 火 災	計 （ 件 ）	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や			焼 損 床 面 積 （ ㎡ ）	焼 損 表 面 積 （ ㎡ ）	林 野 火 災 （ a ）	火 災		計	建 物	林 野	車 両	そ の 他
																死 者	負 傷 者					
R 2	44	24	2	8	10	27	3	1	5	18	10	22	166	11	6		5	22,089	15,995		5,729	365
R 元	43	25	1	10	7	38	8	3	7	20	14	44	851	20	7	3	5	52,044	48,765		2,885	394
H30	41	25		8	8	33	3	1	7	22	26	64	269	210	3	1	12	30,090	27,227		2,856	7
H29	58	28	1	6	23	37	10	1	12	14	20	41	2,128	146	204	2	11	112,768	110,369	65	2,246	88
H28	47	29		10	8	35	7	1	8	19	42	64	938	29		5	8	51,420	45,294		4,236	1,890
平均	47	26	1	8	11	34	6	1	8	19	22	47	870	83	44	2	8	53,682	49,530	13	3,590	549

4 予 防 業 務 の 状 況



(予防業務)

全国統一防火標語

昭和41年度 火の始末人にたのむな 任せるな

昭和42年度 さあ ねようアッそのまえに火の点けん

昭和43年度 あなたは火事の恐ろしさを知らない

昭和44年度 今捨てたタバコの温度が 700 度

昭和45年度 防火三百六十五日

昭和46年度 いま燃えようとしている火がある

昭和47年度 慣れた火に 新たな注意

昭和48年度 隣にも声かけあってよい防火

昭和49年度 生活の一部にしよう 火の点検

昭和50年度 幸せを明日につなぐ 火の始末

昭和51年度 火災は人災 防ぐはあなた

昭和52年度 使う火を消すまで離すな 目と心

昭和53年度 それぞれの持場で生かせ 火の用心

昭和54年度 これくらいと思う油断を火が狙う！

昭和55年度 あなたです！ 火事を出すのも防ぐのも

昭和56年度 毎日が防火デーです ぼくの家

昭和57年度 火の用心 心で用心 目で用心

昭和58年度 点検は 防火のはじまり しめくくり

昭和59年度 “あとで”より“いま”が大切 火の始末

昭和60年度 怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」

昭和61年度 防火の大役 あなたが主役

昭和62年度 消えたかな！ 気になるあの火 もう一度

昭和63年度 その火 その時 すぐ始末！

平成元年度 おとなりに あげる安心 火の始末

平成2年度 まず消そう 火への鈍感 無関心

平成3年度 毎日が 火の元警報 発令中

平成4年度 点検を 重ねて築く“火災ゼロ”

平成5年度 防火の輪 つなげて広げて なくす火事

平成6年度 安心の 暮らしの中心 火の用心

平成7年度 災害に 備えて日頃の 火の用心

平成8年度 便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ

平成9年度 つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火

平成10年度 気をつけて はじめはすべて 小さな火

平成11年度 あぶないよ ひとりぼっちにした その火

平成12年度 火をつけた あなたの責任 最後まで

平成13年度 たしかめて。火を消してから 次のこと

平成14年度 消す心 置いてください 火のそばに

平成15年度 その油断 火から炎へ 災いへ

平成16年度 火は消した？ いつも心に きいてみて

平成17年度 あなたです 火のあるくらしの 見はり役

平成18年度 消さないで あなたの心の 注意の火。

平成19年度 火は見てる あなたが離れる その時を

平成20年度 火のしまつ 君がしなくて 誰がする

平成21年度 消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子

平成22年度 「消したかな」 あなたを守る 合言葉

平成23年度 消したはず 決めつけないで もう一度

平成24年度 消すまでは 出ない 行かない 離れない

平成25年度 消すまでは 心の警報 ONのまま

平成26年度 もういいかい 火を消すまでは まあだだよ

平成27年度 無防備な 心に火災が かくれんぼ

平成28年度 消しましょう その火その時 その場所で

平成29年度 火の用心 ことばを形に 習慣に

平成30年度 忘れてない？ サイフにスマホに火の確認

令和元年度 ひとつずつ いいね！で確認 火の用心

令和2年度 その火事を 防ぐあなたに 金メダル

令和3年度 おうち時間 家族で点検 火の始末

予防業務の概要

令和 3 年 4 月 1 日現在、管轄地域における防火対象物は 6,935 対象物、危険物施設は 506 施設である。

地域別では、防火対象物は「三島市」3,476 対象物、「裾野市」1,867 対象物、「長泉町」1,592 対象物で、危険物施設は「三島市」140 施設、「裾野市」223 施設、「長泉町」143 施設である。

防火管理実施概要

消防法は、学校、病院、工場、百貨店等の多数の者が出入りし、勤務し、又は居住する防火対象物の管理について権原を有する者に、一定の資格を有する者の中から防火管理者を選任し、その旨を届出なければならないことを定めている。

また、防火管理者に消防計画を作成させ、その消防計画に基づき、消火、通報及び避難訓練の実施、消防用設備等の点検及び整備、火気の使用又は取扱いの監督等の防火管理上必要な業務を実施させなければならない。

令和 3 年 4 月 1 日現在の管轄地域の防火管理状況は、防火管理者選任率 81.9%、消防計画届出率 78.2%となっている。

違反対象物公表制度

平成 29 年 4 月 1 日、重大な消防法令等違反のある建物について、利用者等に建物の危険性に関する情報を公開する「違反対象物公表制度」の運用を開始した。

これは、利用者等の選択を通じて防火安全に対する認識を高めて火災被害の軽減を図るとともに、建物の関係者による防火安全体制の確立を促すことを目的としている。

対象となる建物は、劇場、映画館、飲食店、物品販売店、ホテル、病院及び社会福祉施設等不特定多数の者が利用する建物で、消防用設備のうち、屋内消火栓設備、スプリンクラー設備及び自動火災報知設備について、設置義務があるにも関わらず、当該設備を構成する機器等が一切設置されていないものである。

当該建物については、違反が是正されたことを確認できるまでの間、富士山南東消防本部ホームページへの掲載により、建物の名称及び所在地、違反の内容等の情報が公表されます。

違反対象物公表件数

年度	件数
平成 29 年度	0 件
平成 30 年度	0 件
令和 元 年度	0 件
令和 2 年度	2 件

防火対象物数及び査察状況

(令和2年度)

防火対象物の区分 (対象物数)			防火対象物数				査 実 施 数	防 火 管 理 者 選 任 義 務 対 象 物 数	防 火 管 理 者 選 任 し て い る 防 火 対 象 物 数	消 防 計 画 を 作 成 し て い る 防 火 対 象 物 数		
			計	三 島 市	裾 野 市	長 泉 町				選 任 率 (%)	届 出 率 (%)	
合 計			6,935	3,476	1,867	1,592	1,305	1,479	1,211	81.9	1,156	78.2
1	イ	劇場等	6	3	2	1	5	5	5	100	5	100
	ロ	公会堂等	135	51	55	29	56	134	127	94.8	122	91.0
2	イ	キャバレー等										
	ロ	遊技場・ダンスホール	22	6	12	4	6	17	17	100	17	100
	ハ	性風俗店舗等					1					
	ニ	カラオケボックス等	4	3	1		1	4	4	100	4	100
3	イ	待合・料理店										
	ロ	飲食店	128	66	40	22	35	105	78	74.3	68	64.8
4		百貨店・マーケット	227	101	74	52	66	169	139	82.2	131	77.5
5	イ	旅館・ホテル等	47	15	26	6	18	25	25	100	25	100
	ロ	共同住宅等	2,695	1,432	600	663	453	196	157	80.1	152	77.6
6	イ	病院等	108	58	27	23	25	33	32	97.0	32	97.0
	ロ	老人短期入所施設等	63	36	15	12	17	58	56	96.6	54	93.1
	ハ	老人デイサービス等	116	67	27	22	41	77	74	96.1	74	96.1
	ニ	幼稚園・盲学校等	29	14	10	5	6	25	25	100	25	100
7		学校・各種学校	193	103	68	22	46	60	53	88.3	53	88.3
8		図書館等	16	5	1	10	4	7	7	100	7	100
9	イ	蒸気・熱気浴場等	1	1				1				
	ロ	公衆浴場	4	2	2		1	2	2	100	2	100
10		停車場等	4	2	2							
11		神社・寺院・教会	90	67	18	5	14	34	13	38.2	12	35.3
12	イ	工場・作業所	870	342	304	224	146	74	72	97.3	67	90.5
	ロ	映画・テレビスタジオ										
13	イ	駐車場等	50	27	12	11	2	1				
	ロ	飛行機等の格納庫	1		1							
14		倉庫	371	131	119	121	80	6	5	83.3	5	83.3
15		その他の事業所	747	369	202	176	134	125	104	83.2	100	80.0
16	イ	特定複合用途	590	359	144	87	98	269	175	65.1	163	60.6
	ロ	特定以外複合用途	416	215	104	97	49	52	41	78.8	38	73.1
16の2		地下街										
16の3		準地下街										
17		文化財等	2	1	1		1					

消防同意の事務処理状況

消防同意とは、消防が防火の専門家という立場から建築物の火災予防について、設計の段階から関与して建築物の安全性を高めるために設けられた制度である。消防は、建物の建築確認に際しての同意などを通じて防火、防災に対する指導を行っている。

(令和2年度)

申請要旨 (件)	合 計	三島市			裾野市			長泉町		
		小計	指導 無し	指導 有り	小計	指導 無し	指導 有り	小計	指導 無し	指導 有り
合 計	212	111	66	45	49	22	27	52	24	28
新 築	196	107	64	43	41	19	22	48	23	25
増 築	13	3	2	1	7	2	5	3	1	2
改 築										
用途変更	3	1		1	1	1		1		1
修 繕										

消防用設備等の検査状況

消防用設備等とは、消火設備、警報設備、避難設備、消防用水及び消火活動上必要な施設であり、火災による被害の軽減を図るという消防の目的を達成するために不可欠なものである。

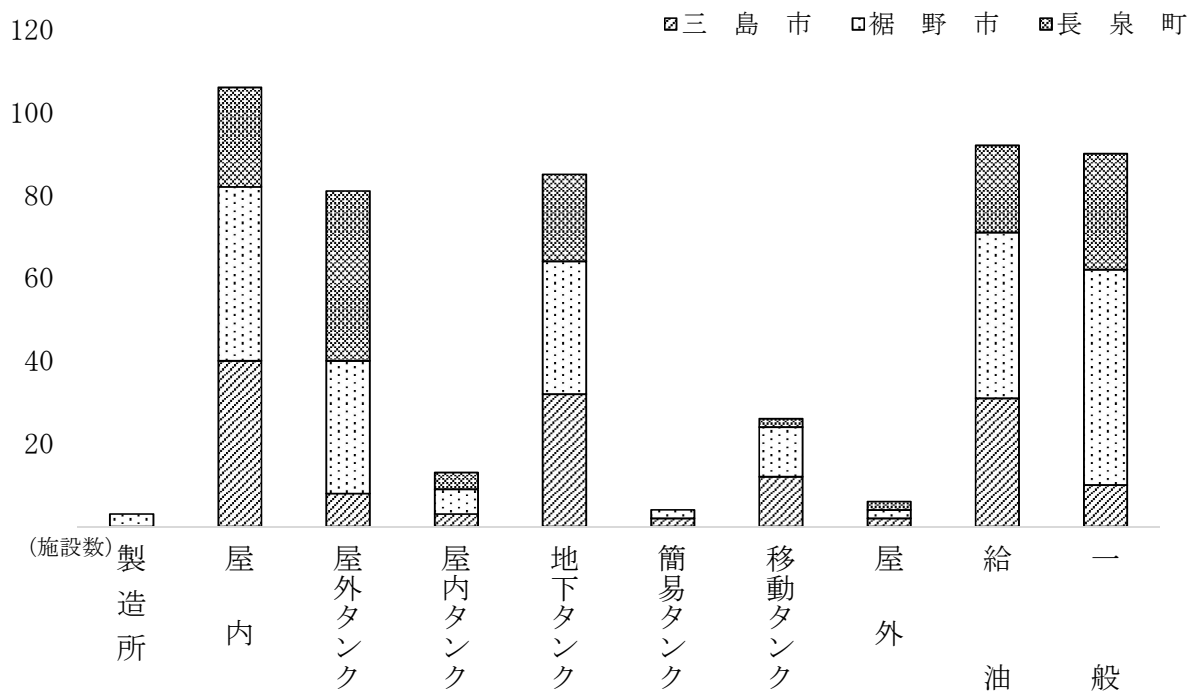
(令和2年度)

(件)	合 計	消火設備						警報設備				避難設備			消 防 用 水	消火活動上 必要な施設		
		消 火 器	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	特 殊 消 火 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	動 力 消 防 ポン プ	自 動 火 災 報 知 設 備	火 災 通 報 装 置	非 常 警 報 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	避 難 器 具	誘 導 灯	誘 導 標 識		非 常 コン セン ト 設 備	連 結 送 水 管	連 結 散 水 設 備
合 計	406	60	12	12	8	1	1	169	11	24	1	8	68	28		1	2	
三 島 市	166	33	5	4	5	1		57	6	12	1	5	22	13		1	1	
裾 野 市	111	14	3	1	2		1	62		8			14	5			1	
長 泉 町	129	13	4	7	1			50	5	4		3	32	10				

危険物施設数

(令和2年度)

(施設数)		合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取扱所	
				屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	給 油	一 般
合 計		506	3	106	81	13	85	4	26	6	92	90
地域別	三 島 市	140		40	8	3	32	2	12	2	31	10
	裾 野 市	223	3	42	32	6	32	2	12	2	40	52
	長 泉 町	143		24	41	4	21		2	2	21	28
14 倍数別	5倍以下	187		54	21	10	38	4	19	5	6	30
	5倍を超え 10倍以下	105	1	24	9	3	24		3	1	13	27
	10倍を超え 50倍以下	121	1	20	27		15		4		36	18
	50倍を超え 100倍以下	35	1	4	12		7				4	7
	100倍を超え 150倍以下	9		3	2		1				2	1
	150倍を超え 200倍以下	8		1	2						5	
	200倍を超え 1,000倍以下	38			6						26	6
	1,000倍を超え 5,000倍以下	3			2							1
	5,000倍を超えるもの											



¹⁴ 倍数は貯蔵最大数量又は取扱最大数量を消防法別表第1で定める指定数量で除して得た数値である。

危険物関係事務処理状況

(令和2年度)

種 別 区 分			合 計	製 造 所	貯 蔵 所							所 扱 取		左 記 以 外
					屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	一 般	
合 計 (件)			259	4	12		3	10		11		34	148	37
地 域 別	三 島 市		49		7		3			4		16	4	15
	裾 野 市		155	4	3			7		7		8	121	5
	長 泉 町		55		2			3				10	23	17
事 務 処 理 区 分 別	設 置	許 可	4		2					1		1		
		完 成	4		2					1		1		
	変 更	許 可	70	1	3		1	2		2		12	49	
		完 成	70	2	3		1	2		1		11	50	
	常 置 場 所 変 更	許 可	3							3				
		完 成	3							3				
	仮 使 用 承 認		64	1	2		1	2				9	49	
	仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱 承 認 ¹⁵		11					4						7
	水 張 検 査 ¹⁶		22											22
	水 圧 検 査		8											8

¹⁵ 仮貯蔵・仮取扱承認の項目欄の左記以外とは、許可施設以外の場所の承認数をいう。

¹⁶ 水張検査の項目欄の左記以外とは、許可施設以外の場所の検査数をいう。

消防法による届出状況

(令和2年度)

根拠条文	届出の種類	届出件数 (件)			
		合 計	三島市	裾野市	長泉町
法第9条の3	圧縮アセチレンガス等の貯蔵・取扱いの届出	51	28	16	7

火災予防条例による届出状況

(令和2年度)

根拠条文	届出の種類	届出件数（件）			
		合 計	三島市	裾野市	長泉町
合 計		1, 139	439	500	200
条例第23条	火の使用に関する制限等	39	19	8	12
条例第43条	防火対象物の使用開始の届出等	126	60	28	38
条例第44条	火を使用する設備等の設置の届出	111	50	37	24
条例第45条	火災とまぎらわしい煙等を発するおそれのある行為等の届出	376	143	205	28
条例第45条	煙火の打上げ又は仕掛け	62	2	59	1
条例第45条	催物の開催				
条例第45条	水道の断水又は減水	2	1		1
条例第45条	道路工事	322	127	115	80
条例第45条	露店等の開設届出書	31	26	2	3
条例第46条	指定数量未満の危険物等の貯蔵及び取扱いの届出等	69	10	46	13
条例第47条	指定数量未満の危険物等を貯蔵及び取扱うタンクの水張（水圧）検査	1	1		

5 救急業務の状況



(伊豆島田分署配備の高規格救急車【令和2年度更新】)

救急業務の概要

令和 2 年中の管轄地域における救急出動件数 7,652 件であり、搬送人員は 6,693 人であった。管轄地域の人口 203,737 人（令和 2 年 12 月 31 日時点）に対し、1 日平均 20.9 件出動し、30.5 人に 1 人の割合で搬送したことになる。

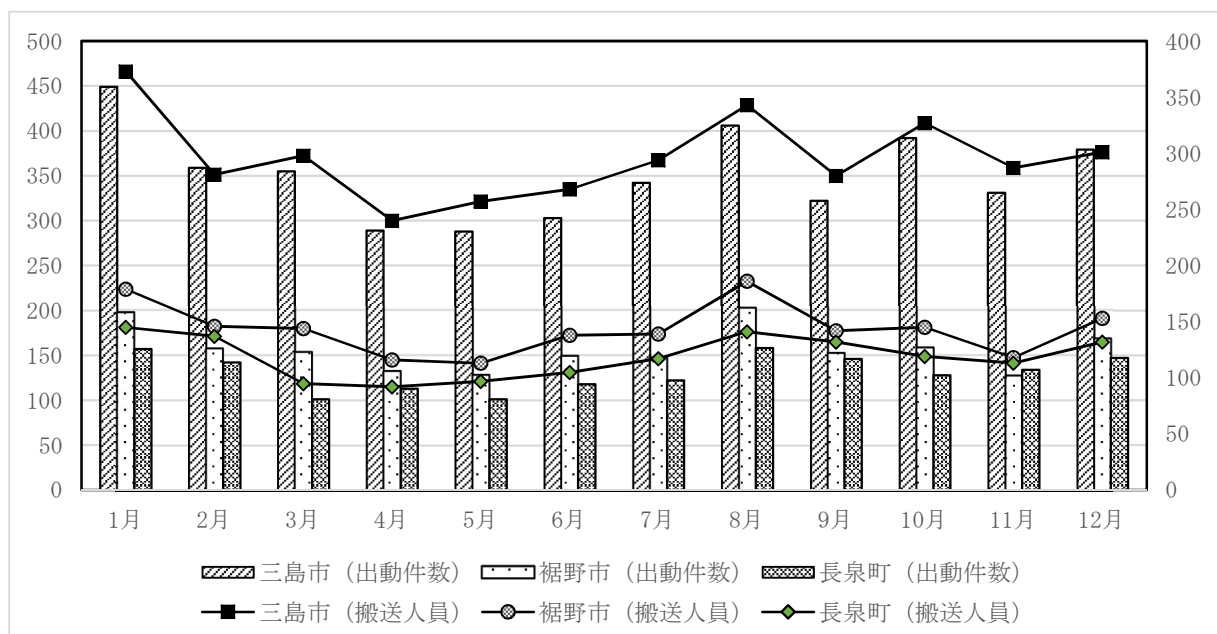
地域別の出動件数は、「三島市」4,215 件、「裾野市」1,870 件、「長泉町」1,567 件であり、事故種別では、「急病」が最も多く 4,600 件（60.1%）、次いで「一般負傷」1,180 件（15.4%）、「転院搬送」1,133 件（14.8%）の順となっている。

高齢者（満 65 歳以上）の搬送状況は 4,217 人で、搬送人員全体の 63.0% を占めている。

東名高速道路及び新東名高速道路における救急出動件数は、27 件であり、搬送人員は、23 人となっている。

〔月別救急出動件数及び搬送人員〕

（令和 2 年 1 月 1 日～令和 2 年 12 月 31 日）



救急業務の概況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

区 分 \ 地 域		合 計	三島市	裾野市	長泉町
出動件数 (件) 計		7,652	4,215	1,870	1,567
事故種別	火 災	27	14	9	4
	自然災害	0	0	0	0
	水 難	1	1	0	0
	交 通	439	225	115	99
	労働災害	79	39	22	18
	運動競技	40	21	16	3
	一般負傷	1,180	625	292	263
	加 害	30	16	9	5
	自損行為	70	37	19	14
	急 病	4,600	2,622	1,045	933
	転 院	1,133	592	325	216
	そ の 他	53	23	18	12
搬送人員 (人) 計		6,693	3,549	1,719	1,425
事故種別	火 災	4	2	1	1
	自然災害	0	0	0	0
	水 難	1	1	0	0
	交 通	379	187	107	85
	労働災害	78	38	22	18
	運動競技	40	20	17	3
	一般負傷	1,034	518	270	246
	加 害	20	11	6	3
	自損行為	48	26	15	7
	急 病	3,958	2,156	956	846
	転 院	1,131	590	325	216
	そ の 他	0	0	0	0
程度別	死 亡	75	34	25	16
	重 症	825	472	180	173
	中 等 症	3,424	1,830	885	709
	軽 症	2,369	1,213	629	527
	そ の 他	0	0	0	0
年齢区分別	新 生 児	2	0	0	2
	乳 幼 児	203	80	69	54
	少 年	219	109	61	49
	成 人	2,052	1,027	566	459
	高 齢 者	4,217	2,333	1,023	861

月別救急活動状況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

月	区分 (件) (人)	合計	事 故 種 別													
			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院	医 師	資 材	そ の 他
1月	出動件数	803	2			39	3	3	117	1	6	491	135			6
	搬送人員	697				36	3	3	100		5	415	135			
2月	出動件数	658	2			25	6	4	100	4	8	395	113			1
	搬送人員	564	1			23	6	3	85	4	8	321	113			
3月	出動件数	609	2			31	5	1	103	8		349	106			4
	搬送人員	537				27	4	1	91	4		304	106			
4月	出動件数	534	2			29	8	1	91	1	7	320	72			3
	搬送人員	448	1			20	8	1	77		5	264	72			
5月	出動件数	517	1			35	4		81	3	6	312	73			2
	搬送人員	467				36	4		75	2	5	272	73			
6月	出動件数	570	3			36	5	4	106			323	88			5
	搬送人員	511	1			33	5	4	94			287	87			
7月	出動件数	611	1			28	7	3	92		6	373	94			7
	搬送人員	550				23	7	3	85		4	334	94			
8月	出動件数	766	3			46	14	6	107	3	5	468	105			9
	搬送人員	670				40	14	6	89	2	4	410	105			
9月	出動件数	620	2			45	5	6	97	3	6	369	83			4
	搬送人員	554				36	5	7	87	2	3	331	83			
10月	出動件数	678	1		1	47	10	4	105	1	15	390	101			3
	搬送人員	591			1	38	10	4	89	1	9	339	100			
11月	出動件数	592	4			34	5	7	90	3	4	363	81			1
	搬送人員	518				28	5	7	79	3	1	314	81			
12月	出動件数	694	4			44	7	1	91	3	7	447	82			8
	搬送人員	586	1			39	7	1	83	2	4	367	82			
合計	出動件数	7,652	27		1	439	79	40	1,180	30	70	4,600	1,133			53
	搬送人員	6,693	4		1	379	78	40	1,034	20	48	3,958	1,131			
前年	出動件数	8,546	44	1	1	516	77	94	1,227	25	58	5,278	1,153	4		68
	搬送人員	7,595	4		1	499	76	89	1,088	14	32	4,640	1,152			
増減	出動件数	△ 894	△ 17	△ 1		△ 77	2	△ 54	△ 47	5	12	△ 678	△ 20	△ 4		△ 15
	搬送人員	△ 902				△ 120	2	△ 49	△ 54	6	16	△ 682	△ 21			

救急隊員の行った応急処置

程 度 処 置	合 計						急 病					
	総 計	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	計	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他
応 急 処 置 人 数 （ 人 ）	7,412	75	825	3,411	2,360	741	4,495	64	526	1,936	1,423	546
合 計 （ 件 ）	29,195	414	3,961	13,836	8,754	2,230	18,057	351	2,640	8,116	5,262	1,689
止 血	149		8	43	88	10	29		1	7	16	5
固 定	301	1	41	166	91	2	15			10	4	1
人 工 呼 吸	38	6	28	3		1	36	6	27	3		1
胸 骨 圧 迫												
自動 ¹⁷												
心 肺 蘇 生	199	74	117			8	176	64	104			8
自動 ¹⁷	74	25	48			1	66	23	42			1
酸 素 吸 入	1,048	64	353	568	58	5	711	56	262	349	40	4
気 道 確 保	272	73	161	25	5	8	236	63	141	20	4	8
18	1					1	1					1
19	2	1	1				1		1			
20	70	20	49	1			66	20	45	1		
21	13	5	8				8	2	6			
保 温	1,191	18	150	615	387	21	730	15	89	364	244	18
被 覆	387	1	17	106	221	42	31	1	1	12	15	2
在 宅 療 法 継 続	7			5	2		6			5	1	
除 細 動	15	2	13				13	1	12			
静 脈 路 確 保 ²²	105	24	68	11	2		94	21	60	11	2	
薬 剤 投 与	57	20	37				53	17	36			
血 圧 測 定	6,959	10	726	3,369	2,276	578	4,158	8	441	1,914	1,370	425
聴診器による心音・呼吸音聴取	1,128	27	211	587	232	71	788	20	143	403	161	61
血中酸素飽和度測定	7,057	10	734	3,384	2,327	602	4,217	8	449	1,918	1,404	438
心 電 図	3,436	65	593	1,694	817	267	2,573	55	431	1,220	626	241
血 糖 測 定	39		5	24	9	1	36		4	23	8	1
エ ピ ペ ン 投 与												
ブ ド ウ 糖 投 与	6		1	4	1		6		1	4	1	
そ の 他	6,801	19	698	3,232	2,238	614	4,149	16	438	1,853	1,366	476

¹⁷ 胸骨圧迫及び心肺蘇生の自動とは、人工蘇生システムを使用した件数を内数としたもの。

¹⁸ 経鼻エアウェイ等を使用して気道確保を行った件数を内数としたもの。

¹⁹ 喉頭鏡・鉗子等により異物除去を行った件数を内数としたもの。

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

交 通						一般負傷						その他					
計	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	計	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	計	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他
440	2	19	114	242	63	1,127	7	74	453	494	99	1,350	2	206	908	201	33
1,711	8	108	531	892	172	4,234	43	326	1,731	1,848	286	5,192	12	887	3,458	752	83
14		1	6	6	1	90		3	24	59	4	16		3	6	7	
127	1	13	58	55		111		17	66	27	1	48		11	32	5	
						1		1									
2	2					12	7	5				9	1	8			
						5	2	3				3		3			
30	1	7	21		1	50	6	18	20	6		257	1	66	178	12	
3	2	1				18	7	8	2	1		15	1	11	3		
						1	1										
						1		1				3		3			
1	1					3	2	1				1		1			
59		8	19	31	1	189	2	18	88	79	2	213	1	35	144	33	
71		4	18	40	9	246		8	62	146	30	39		4	14	20	1
												1				1	
						1	1					1		1			
1		1				4	2	2				6	1	5			
						3	2	1				1	1				
427		19	111	239	58	1,061	1	68	443	469	80	1,313	1	198	901	198	15
77	1	9	33	30	4	96	5	23	45	21	2	167	1	36	106	20	4
431		19	113	241	58	1,091	1	67	448	485	90	1,318	1	199	905	197	16
98	1	11	52	33	1	235	7	24	106	91	7	530	2	127	316	67	18
						1			1			2		1		1	
371		15	100	217	39	1,025	2	63	426	464	70	1,256	1	182	853	191	29

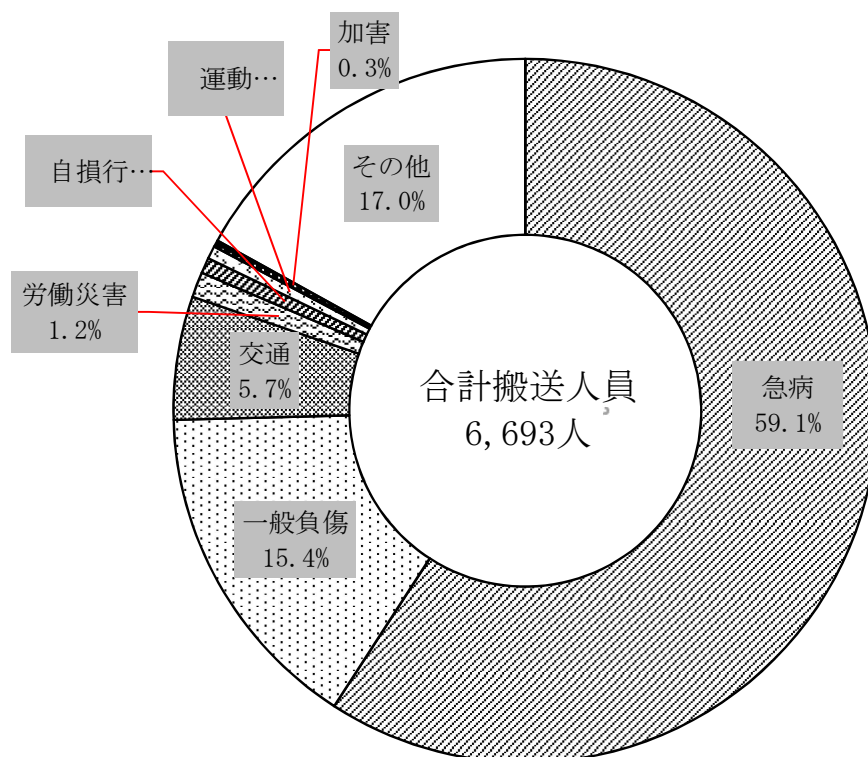
²⁰ 救急救命士がラリングルマスク等を使用して気道確保を行った件数を内数としたもの。²¹ 救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数を内数としたもの。²² 心肺機能停止前・心肺機能停止後の静脈路確保実施件数。

事故種別・年齢区分別・傷病程度別搬送人員

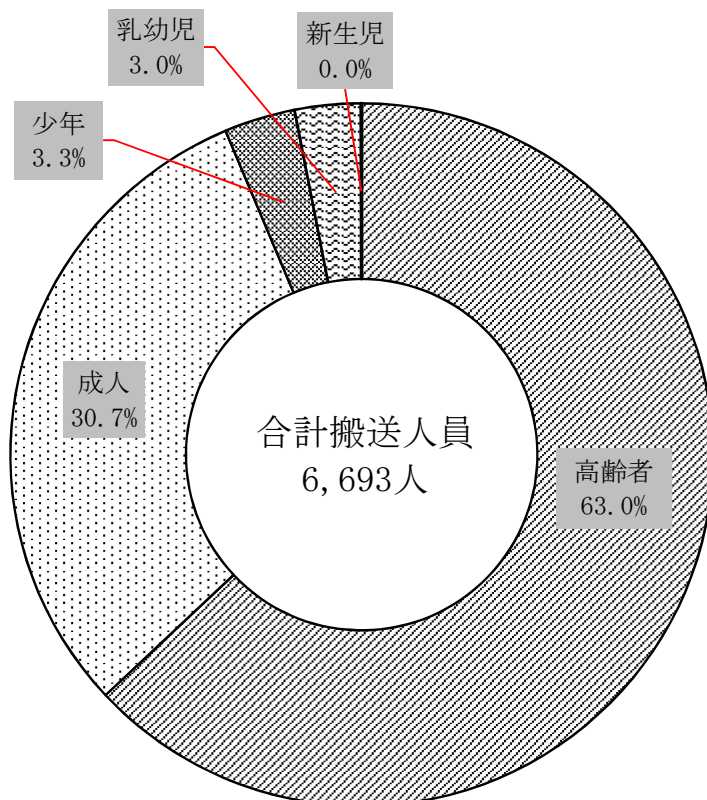
(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

年 齢 \ 種 別		合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
													転院
合計 (人)	計	6,693	4		1	379	78	40	1,034	20	48	3,958	1,131
	死 亡	75				2			7		2	64	
	重 症	825			1	19	4	1	74	2	12	526	186
	中等症	3,424	3			114	41	9	454	4	19	1,943	837
	軽 症	2,369	1			244	33	30	499	14	15	1,425	108
	その他												
新生児 生後28日以内	計	2				1							1
	死 亡												
	重 症												
	中等症	1											1
	軽 症	1				1							
	その他												
乳幼児 生後29日以上 満7才未満	計	203				9			59			129	6
	死 亡												
	重 症	4							1			3	
	中等症	56				4			12			36	4
	軽 症	143				5			46			90	2
	その他												
少年 満7才以上 満18才未満	計	219				40		34	43	1	3	79	19
	死 亡												
	重 症	2										2	
	中等症	85				16		9	16		2	26	16
	軽 症	132				24		25	27	1	1	51	3
	その他												
成人 満18才以上 満65才未満	計	2,052	3			224	64	5	193	14	39	1,176	334
	死 亡	16				2					2	12	
	重 症	200				8	3	1	10		10	106	62
	中等症	903	3			61	32		67	3	15	490	232
	軽 症	933				153	29	4	116	11	12	568	40
	その他												
高齢者 満65才以上	計	4,217	1		1	105	14	1	739	5	6	2,574	771
	死 亡	59							7			52	
	重 症	619			1	11	1		63	2	2	415	124
	中等症	2,379				33	9		359	1	2	1,391	584
	軽 症	1,160	1			61	4	1	310	2	2	716	63
	その他												

事故種別搬送人員の分布



年齢区分別搬送人員の分布

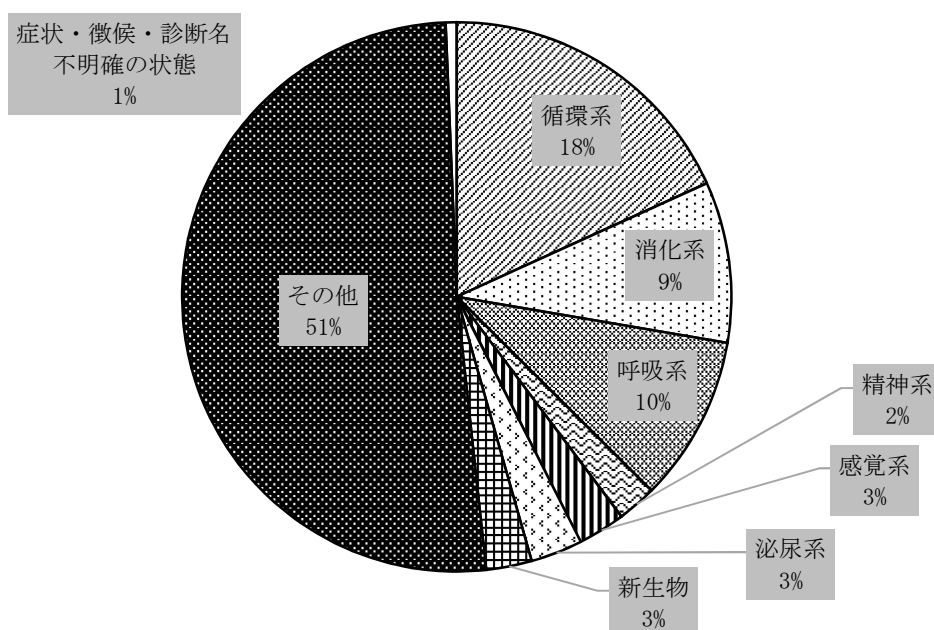


急病に係る疾病分類傷病程度別搬送人員

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

分類 \ 程度		合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他
合 計 (人)		3,958	64	526	1,943	1,425	
循環系	計	721	11	161	422	127	
	脳疾患	384	1	70	248	65	
	心疾患	337	10	91	174	62	
消化系		375	1	34	192	148	
呼吸系		387	1	72	216	98	
精神系		91		1	25	65	
感覚系		110		4	45	61	
泌尿系		121	3	8	53	57	
新生物		106	6	40	55	5	
その他		2,021	42	204	928	847	
症状・徴候・診断名 不明確の状態		26		2	7	17	

疾病分類別搬送人員



曜日別救急出動件数

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

種別 曜日	合計 (件)	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他			
												転院 搬送	医師	資材	その他
合計	7,652	27		1	439	79	40	1,180	30	70	4,600	1,133			53
日	1,009	2		1	42	4	10	183	8	10	669	71			9
月	1,164	2			59	14	8	178	4	11	701	182			5
火	1,082	6			70	14	2	162	3	13	651	149			12
水	1,079	3			71	10	2	154	1	7	627	198			6
木	1,056	6			61	17	5	163	6	10	634	148			6
金	1,159	3			74	14	7	159	2	7	664	223			6
土	1,103	5			62	6	6	181	6	12	654	162			9

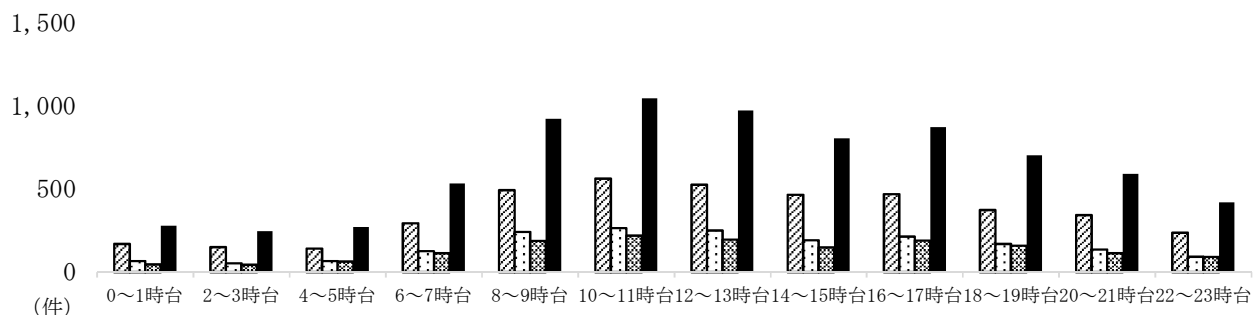
時間別救急出動件数

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

種別 時間	合計 (件)	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他			
												転院 搬送	医師	資材	その他
合計	7,652	27		1	439	79	40	1,180	30	70	4,600	1,133			53
0～1時台	280	2			7			44	4	3	208	5			7
2～3時台	246	2			3	3		32	4	2	191	7			2
4～5時台	270	3			8	3		38	3	1	210	4			
6～7時台	533				35	2		86	2	4	395	6			3
8～9時台	922	1			60	5	4	134		9	573	130			6
10～11時台	1,044	7			52	21	13	140	1	8	535	264			3
12～13時台	971	5			56	13	8	151	3	5	482	247			1
14～15時台	804	1		1	45	16	4	138	2	7	432	150			8
16～17時台	872				92	9	6	151	3	12	423	169			7
18～19時台	701				45	2	3	122	2	8	436	76			7
20～21時台	590	4			21	4	2	88	4	7	400	53			7
22～23時台	419	2			15	1		56	2	4	315	22			2

時間別救急出動件数

■三島市 □裾野市 ▨長泉町 ■合計



東名高速道路出動状況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

月 区 分		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	出動件数（件）	7	1	2		1		1		1	1			
	搬送人員（人）	5		2		1		1		1				
上り	出 動 件 数	5		2				1		1	1			
	搬 送 人 員	4		2				1		1				
下り	出 動 件 数	2	1			1								
	搬 送 人 員	1				1								

出動行政区分

行政区分	合 計	富士市	沼津市	長泉町	裾野市	御殿場市
上り ²³	5					5
下り	2				2	

新東名高速道路出動状況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

月 区 分		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	出動件数（件）	20		5				2	1	3	4	2	2	1
	搬送人員（人）	18		7				1	1	3	1	2	2	1
上り	出 動 件 数	5								1	1	1	1	1
	搬 送 人 員	4								1		1	1	1
下り	出 動 件 数	15		5				2	1	2	3	1	1	
	搬 送 人 員	14		7				1	1	2	1	1	1	

出動行政区分

行政区分	合 計	富士市	沼津市	長泉町	裾野市	御殿場市
上り	5			2	1	2
下り ²⁴	15	5	9	1		

²³ 駒門PA（御殿場市）への出動を含む。

²⁴ 駿河湾沼津SA（沼津市）への出動を含む。

救急救命士の状況

救急救命士運用状況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

区 分			合計	急病	交通	一般	その他
全 出 動 件 数 (件)			7,652	4,600	439	1,180	1,433
救急救命士搭乗出動件数 (件)			7,652	4,600	439	1,180	1,433
救急救命士搭乗率 (%)			100	100	100	100	100
発 生 場 所 市 町 別	三島市	全 出 動 件 数	4,215	2,622	225	625	743
		救 急 救 命 士 搭 乗 出 動 件 数	4,215	2,622	225	625	743
		救 急 救 命 士 搭 乗 率 (%)	100	100	100	100	100
	裾野市	全 出 動 件 数	1,870	1,045	115	292	418
		救 急 救 命 士 搭 乗 出 動 件 数	1,870	1,045	115	292	418
		救 急 救 命 士 搭 乗 率 (%)	100	100	100	100	100
	長泉町	全 出 動 件 数	1,567	933	99	263	272
		救 急 救 命 士 搭 乗 出 動 件 数	1,567	933	99	263	272
		救 急 救 命 士 搭 乗 率 (%)	100	100	100	100	100

救命処置実施状況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

区 分 (人)			合計	急病	交通	一般	その他
心肺蘇生対象傷病者			187	163	2	12	10
救急救命士搭乗隊 心肺蘇生対象傷病者			187	163	2	12	10
救命処置実施者数			179	156	2	11	10
救 命 処 置	気道確保		179	156	2	11	10
		気管挿管	13	8	1	3	1
	除細動		15	13		1	1
	静脈路 確保		81	75		3	3
		薬剤投与	57	53		3	1

現場到着時心肺停止傷病者の状況

心肺停止傷病者に対する心肺蘇生実施状況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

区 分 (人)		合計	急病	交通	一般	その他
心肺停止傷病者		321	276	3	14	28
心肺蘇生対象傷病者 ²⁵		187	163	2	12	10
心肺停止 時期	救急隊員が確認	19	16		2	1
	住民等により目撃	50	44	1	4	1
	目撃者なし	118	103	1	6	8
医師初診 時の程度	死 亡	71	62	2	5	2
	重 症	115	100		7	8
	中等症	1	1			
1週間後の生存者		12	10		1	1
1ヵ月後の生存者		10	8		1	1

バイスタンダー実施状況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

区 分 (人)		合計	急病	交通	一般	その他
心肺停止傷病者		187	163	2	12	10
口頭指導	あ り	171	152		11	8
	な し	16	11	2	1	2
処置内容	A E D ²⁶	5	4		1	
	心肺蘇生	1				1
	胸骨圧迫	70	62		7	1
	人工呼吸					

²⁵ 救急隊が現場到着前に蘇生した者も含む

²⁶ 自動体外式除細動器

応急手当普及講習実施状況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

区分 講習内容の種別	開催回数 (回)	延べ受講者数 (人)	備 考
普通救命講習Ⅰ(3時間)	27	278	事業所普及員実施実績を含む
普通救命講習Ⅱ(4時間)	1	10	
普通救命講習Ⅲ(3時間) (小児・乳児に対する心肺蘇生法)			
上級救命講習(8時間)	1	30	
普及員講習(16時間)			
指導員講習(24時間)			

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月以降、講習を中止しています。

6 救助・警防業務の状況



(三島消防署配備の救助工作車)

救助・警防業務の概要

令和２年中の管轄地域における救助出動件数は 73 件であり、救助人員は 55 人であった。地域別の出動件数は、「三島市」40 件、「裾野市」13 件、「長泉町」20 件であり、事故種別では、「建物等による事故」が最も多く 37 件、次いで「交通事故」の 18 件となっている。

警防出動件数は 1,212 件で、地域別の出動件数は、「三島市」683 件、「裾野市」269 件、「長泉町」260 件であり、種別では、「救急応援」が最も多く 845 件、次いで「ヘリ支援」の 142 件となっている。

救助活動の概況

(令和２年１月１日～令和２年１２月３１日)

種 別 地 域		合 計	火 災 ²⁷		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
			建 物	建 物 以 外								
合 計	出動件数 (件)	73 (2)	1		18	3		3	37			11
	救助人員 (人)	55 (4)	1		14	3		1	28			8
三島市	出動件数	40			8	2		1	24			5
	救助人員	28			4	2		1	18			3
裾野市	出動件数	13			6	1		1	4			1
	救助人員	10			5	1			3			1
長泉町	出動件数	20 (2)	1		4 (2)			1	9			5
	救助人員	17 (4)	1		5 (4)				7			4

() は内数で、東名・新東名高速道路の出動を示す。

ただし、東名高速道路については、上りの裾野 IC～御殿場 IC 間（駒門 PA を含む。）、下りの裾野 IC～沼津 IC 間とする。新東名高速道路については、上りの長泉沼津 IC～御殿場 JCT 間、下りの長泉沼津 IC～新富士 IC 間（駿河湾沼津 SA を含む。）とする。（以下、同じ。）

²⁷ 「火災」とは、消防機関が何らかの救助活動を行った火災を示す。（以下同じ。）

月別救助活動状況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

月	区分 (件) (人)	合 計	火災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自然災害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
			建 物	建 物 以 外								
1月	出動件数	8			3				5			
	救助人員	8			3				5			
2月	出動件数	7			2				5			
	救助人員	6			3				3			
3月	出動件数	5			1			1	1			2
	救助人員	6			2			1	1			2
4月	出動件数	9			4	1			3			1
	救助人員	5			1	1			2			1
5月	出動件数	7			1			1	5			
	救助人員	4							4			
6月	出動件数	4			2				2			
	救助人員	2			1				1			
7月	出動件数	6							2			4
	救助人員	5							2			3
8月	出動件数	7			1				5			1
	救助人員	5			1				4			
9月	出動件数	2						1	1			
	救助人員											
10月	出動件数	10			4	2			3			1
	救助人員	7			3	2			1			1
11月	出動件数	2										2
	救助人員	1										1
12月	出動件数	6	1						5			
	救助人員	6	1						5			
合 計	出動件数	73	1		18	3		3	37			11
	救助人員	55	1		14	3		1	28			8
前年	出動件数	97	3		23	5	1	2	50			13
	救助人員	122	53		18	5			35			11
増減	出動件数	△ 24	△ 2		△ 5	△ 2	△ 1	1	△ 13			△ 2
	救助人員	△ 67	△ 52		△ 4	△ 2		1	△ 7			△ 3

警防活動の概況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

種別 地域	合計 (件)	自 火 報 発 報	危 険 物 等 漏 洩	毒 劇 物 放 射 能	火 災 警 戒	調 査	風 水 害	無 応 答 確 認	へ り 支 援	警 戒 そ の 他	救 急 応 援	検 索 活 動	誤 報 等
合計	1,212 (14)	69	44		5	35	9	25	142	21 (1)	845 (11)		17 (2)
三島市	683	43	25		2	23	3	15	77	12	476		7
裾野市	269 (5)	9	13		3	10	1	9	41	4	173 (4)		6 (1)
長泉町	260 (9)	17	6			2	5	1	24	5 (1)	196 (7)		4 (1)

() は内数で、東名・新東名高速道路の出動を示す。

月別警防活動状況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

種別 月	合計 (件)	自 火 報 発 報	危 険 物 等 漏 洩	毒 劇 物 放 射 能	火 災 警 戒	調 査	風 水 害	無 応 答 確 認	へ り 支 援	警 戒 そ の 他	救 急 応 援	検 索 活 動	誤 報 等
合計	1,212 (14)	69	44		5	35	9	25	142	21 (1)	845 (11)		17 (2)
1月	118 (1)	8	4			4	1	3	16		80 (1)		2
2月	105 (3)	7	3			2		1	9	2 (1)	81 (2)		
3月	76	4	2		2	1		3	8	3	52		1
4月	102 (1)	2	5			1		2	16		74 (1)		2
5月	73	4	3			3		1	12	3	46		1
6月	78 (3)	1	3			2		3	12	1	56 (3)		
7月	125 (1)	14	3			5	8	6	14	3	72 (1)		
8月	123 (1)	5	7		3	1		1	19	2	83 (1)		2
9月	83 (3)	6	3			7		1	11		53 (1)		2 (2)
10月	89	6	5			2		1	8	1	65		1
11月	113	7	2			6		1	8	2	83		4
12月	127 (1)	5	4			1		2	9	4	100 (1)		2

() は内数で、東名・新東名高速道路の出動を示す。

緊急消防援助隊概要

緊急消防援助隊は、平成7年(1995年)1月17日の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時における人命救助活動等をより効果的かつ迅速に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため、全国の消防本部の協力を得て、平成7年6月に創設された。

この緊急消防援助隊は、一旦、我が国のどこかにおいて大規模災害が発生した場合には、全国から当該災害に対応できるだけの消防部隊が被災地に集中的に出動し、人命救助等の消防活動を実施するというシステムである。

富士山南東消防本部においても、次の8隊を登録している。

(令和3年4月1日現在)

区 分	部隊数 (隊)
合 計	8
消火部隊	4
救助部隊	1
救急部隊	2
後方支援部隊	1



(令和元年度緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練)

7 通信業務の状況



(消防指令センター)

通信業務の概要

令和 2 年中の管轄地域における災害通報受信件数は、7,680 件であった。

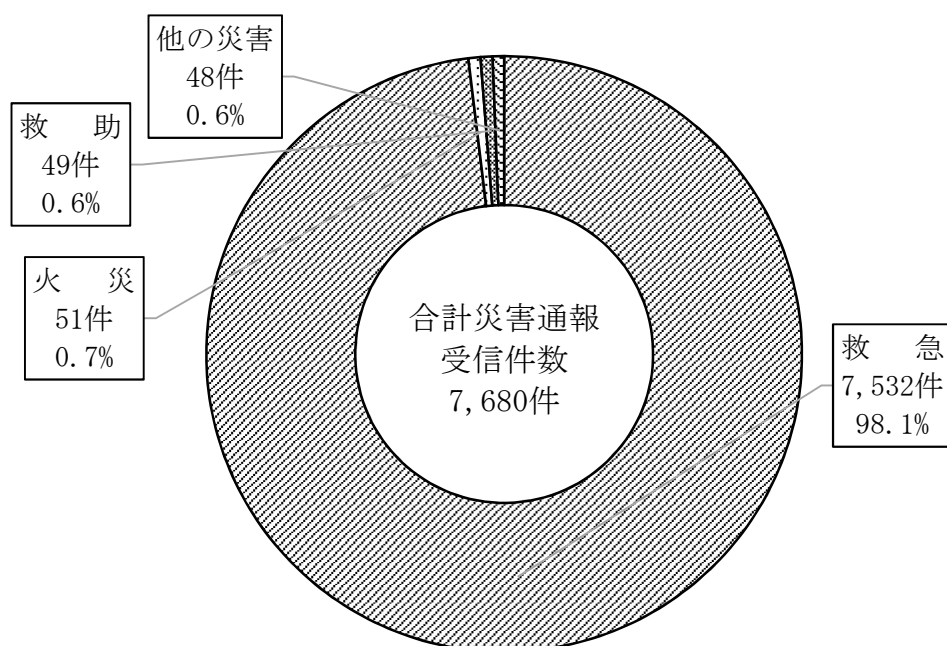
種別で見ると、「救急」が最も多く 7,532 件、次いで「火災」の 51 件となっている。地域別の 119 番受信件数では、「三島市」4,758 件、「裾野市」1,633 件、「長泉町」1,270 件であった。

回線別の 119 番受信では、「携帯電話」が最も多く 3,388 件、次いで「IP 電話」が 2,729 件、「固定電話」が 1,544 件となっており、令和 2 年度に事業を開始した NET119 は 1 件となっている。

その他、緊急性のない受信件数のうち、「問い合わせ」が 461 件、「間違い」が 444 件、「いたずら」が 6 件であった。

〔災害通報受信件数〕

(令和 2 年 1 月 1 日～令和 2 年 12 月 31 日)



災害等受信件数

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

種 別 区 分			合 計 （件）	災害通報					緊急性のないもの					
				小 計	火 災	救 急	救 助	他 の 災 害	小 計	問 い 合 わ せ	間 違 い	いた ず ら	回 線 試 験	訓 練 他
119番受信件数合計			10, 148	7, 661	50	7, 522	46	43	2, 487	456	434	6	155	1, 436
※			71	32	3	29			39	4	9		10	16
1 1 9 番 受 信 件 数	地 域 別	三 島 市	6, 214	4, 758	30	4, 677	26	25	1, 456	279	231	4	88	854
		ペンダント ²⁸	34	17	2	15			17	1	2		6	8
		裾 野 市	2, 251	1, 633	12	1, 599	10	12	618	100	131	1	39	347
		ペンダント ²⁸	21	11		11			10	1	3		2	4
		長 泉 町	1, 683	1, 270	8	1, 246	10	6	413	77	72	1	28	235
		ペンダント ²⁸	16	4	1	3			12	2	4		2	4
	回 線 別	119 番 受 信	2, 268	1, 544	6	1, 512	13	13	724	63	145	1	125	390
		携 帯 119 番 受 信	4, 682	3, 388	32	3, 304	25	27	1, 294	280	236	5	22	751
		I P 電 話	3, 198	2, 729	12	2, 706	8	3	469	113	53		8	295
F A X			6						6				6	
メ ー ル 119			1						1				1	
NET119			17	1		1			16		3		2	11
加 入 電 話			37	18	1	9	3	5	19	5	7			7
合 計			10, 209	7, 680	51	7, 532	49	48	2, 529	461	444	6	164	1, 454
前 年			10, 049	7, 641	93	7, 439	44	65	2, 408	567	526	20	174	1, 121
増 減			160	39	△ 42	93	5	△ 17	121	△ 106	△ 82	△ 14	△ 10	333

²⁸ 緊急通報システム（ペンダント）件数を内数として記載。
緊急通報システムとは、緊急通報装置またはペンダント型送信機により、自動的に119番通報を行うものをいう。

令和 2 年版 消防年報

発 行 年 月	令和 3 年 7 月
発 行	静岡県三島市南田町 4 番 4 0 号 富士山南東消防本部
編 集	総務課
T E L	0 5 5 - 9 7 2 - 5 8 0 1
F A X	0 5 5 - 9 7 3 - 0 1 2 5
E - m a i l	soumu@fdfujisan-nantou.shizuoka.jp
ホームページ URL	http://fdfujisan-nantou.shizuoka.jp/